



令和7年度

# 安曇野市 協働事業事例集

---



安曇野市 市民生活部 地域づくり課



## 1 協働事業事例集の趣旨・目的

安曇野市では、市民の皆さまと市が共に手を取り合い、地域の課題解決や魅力向上に取り組む「協働によるまちづくり」を推進しています。

協働事業は、市民や区など自治会、市民活動団体、企業、教育機関、行政など、多様な主体がそれぞれの強みを活かしながら、地域社会の発展に貢献する取り組みです。

この事例集は、令和6年度に各部局で実施した協働事業の実績や成果を共有し、今後の協働の可能性を広げることを目的としています。

この事例集が、協働のアイデアを得るきっかけとなり、市民と行政がより一層連携し、住みよいまちづくりを進めるための一助となることを願っています。

## 2 対象とした協働事業

市民と行政がお互いの持つ特性を活かし、不足を補いながら、共に公共サービスの充実や市政の効率化に活かすなどの協働の視点で実施した事業。

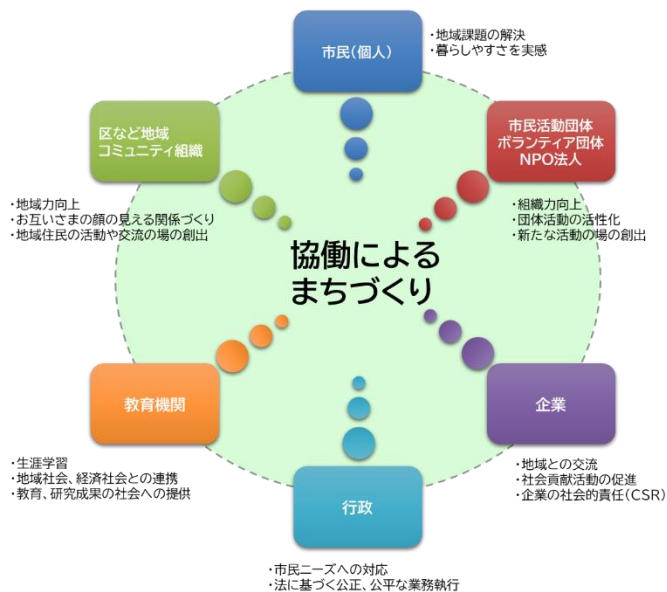
### (1) 協働の形態

共催、実行委員会、事業協力（協定）

### (2) 行政（市）と協働するパートナー

自主的に地域の課題解決に携わる法人、団体等（国、地方公共団体、独立行政法人を除く）

（例）区（自治会）、PTA、企業、学校法人、社会福祉法人、医療法人、商工会議所・商工会、NPO、消防団、農業協同組合




情報提供していただいた協働事業一覧(63事業)

| No. | 事業名                            | 協働の相手方  | 事業担当課   |
|-----|--------------------------------|---|---------|
| 1   | 第7回安曇野・クラムザッハ友好市民コンサート         | 安曇野・クラムザッハ友好会   | 政策経営課   |
| 2   | 官民協働事業・イオン豊科店「わが街NAVI」         | イオン豊科店、(株)サイネックス  | 秘書広報課   |
| 3   | 若年層の性暴力被害予防月間パネル展              | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   | 人権共生課   |
| 4   | 共生社会づくり講座「誰もが安心できる社会とは」        | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 5   | 男女共同参画週間パネル展示                  | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 6   | まんまるカラフルまつり                    | 安曇野市共生社会づくりフォーラム実行委員会   |         |
| 7   | あづみの国際DAY! 2025                | あづみの国際化ネットワーク   |         |
| 8   | 日本語deスピーチ大会&対話会                | あづみの国際化ネットワーク   |         |
| 9   | 女性に対する暴力をなくす運動パネル展示            | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 10  | 「親だからこそ伝えたい 性といのちのおはなし」(性教育講座) | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 11  | ホンデリングデー                       | 認定特定非営利活動法人 長野犯罪被害者支援センター   |         |
| 12  | 安曇野から考える人権展                    | 松本人権擁護委員協議会安曇野部会、安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク                              |         |
| 13  | 安曇野市人権のつどい                     | 安曇野市企業人権教育推進協議会、松本人権擁護委員協議会                                       |         |
| 14  | 世界を知ろう、触れ合おう! 韓国編              | 安曇野市国際交流協会  |         |
| 15  | ピンクシャツデー展示                     | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 16  | 国際女性デー展示                       | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク   |         |
| 17  | 光城山1000人SAKURAプロジェクト           | 光城山1000人SAKURAプロジェクト  | 地域づくり課  |
| 18  | ゆるーくつながる出会いの場                  | 有志の市民(ゆるつな運営チーム)  |         |
| 19  | あづみの市民活動フェスタ2025               | 有志の市民(市民活動フェスタ参加団体)   |         |
| 20  | 第46回あづみ野祭り                     | 第46回あづみ野祭り実行委員会   |         |
| 21  | アルプス花街道事業                      | アルプス花街道実行委員会  |         |
| 22  | ふるさと夏祭り                        | ふるさと夏祭り実行委員会  |         |
| 23  | 信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)       | 岩原ひまわりクラブ   | 環境課     |
| 24  | 安曇野明科あやめまつり                    | あやめまつり実行委員会   |         |
| 25  | 安曇野環境フェア2025                   | 安曇野市環境フェア実行委員会  |         |
| 26  | 不用食器リサイクル活動                    | 安曇野市不用食器リサイクル実行委員会  | 移住定住推進課 |
| 27  | 明科駅周辺まちあるき空き家・空き店舗見学会          | 明科駅周辺まちづくり委員会   |         |
| 28  | 空き家相談セミナー&個別相談会                | 安曇野市空家等管理活用支援法人   | 高齢者介護課  |
| 29  | 専門家による空き家相談会①                  | NEX-T安曇野  |         |
| 30  | 専門家による空き家相談会②                  | (一社)全国空き家アドバイザー協議会、長野県安曇野支部                                       |         |
| 31  | 地域見守り活動連携協定に関する官民連携推進会議        | 安曇野市地域見守り活動に関する連携協定締結団体(うち民間企業のみ)                                 | 農政課     |
| 32  | 令和7年度 安曇野市地域支え合い推進フォーラム        | NPO法人JAあづみくらしの助け合いネットワーク あんしん、安曇野市社会福祉協議会、安曇野市地域見守り活動に関する連携協定締結団体 |         |
| 33  | 安曇野玉ねぎ祭り                       | 安曇野玉ねぎ祭り実行委員会参加団体   | 耕地林務課   |
| 34  | 里山再生計画推進事業                     | 市民・事業者  |         |
| 35  | 安曇野市穂高北穂高地区産業用地整備事業            | (株)ヤマウラ、(株)d-ネクスト   | 商工労政課   |
| 36  | 信州安曇野食の感謝祭                     | 信州安曇野食の感謝祭実行委員会   |         |
| 37  | 安曇野APPLE HALLOWEEN2025         | 安曇野APPLE HALLOWEEN実行委員会   | 観光課     |
| 38  | 安曇野やさいスイーツプロジェクト               | 安曇野やさいスイーツプロジェクト  |         |
| 39  | 市制施行20周年記念 第18回安曇野花火           | 安曇野花火実行委員会  |         |
| 40  | 安曇野雲海ロゲイング2025                 | 信州安曇野ロゲイング実行委員会   |         |
| 41  | 第42回早春賦まつり                     | 早春賦まつり実行委員会   |         |
| 42  | 信州安曇野ハーフマラソン                   | 信州安曇野ハーフマラソン実行委員会   |         |
| 43  | 安曇野市コミュニティスクール                 | 地域住民、各種ボランティア団体等  | スポーツ推進課 |
| 44  | 令和8年二十歳の集い                     | 令和8年安曇野市二十歳の集い実行委員会   | 学校教育課   |
| 45  | 安曇野市総合芸術展                      | 安曇野市総合芸術展実行委員会  |         |
| 46  | 第63回童謡祭り第45回作詞作曲コンクール          | 童謡祭り実行委員会   |         |
| 47  | 第20回豊科さわやか市民運動会                | 豊科市民運動会実行委員会  |         |
| 48  | 穂高納涼祭                          | 穂高納涼祭実行委員、穂高商業高校  |         |
| 49  | 穂高地域地区公民館対抗球技大会                | 穂高家庭婦人バレーボール協会、穂高壮年ソフトボール連盟、穂高ソフトバレーボールクラブ、穂高東中学校・穂高西中学校          |         |
| 50  | 穂高文化祭                          | 穂高文化協会、穂高商業高校   | 生涯学習課   |
| 51  | 三郷祭<br>(三郷地域市民文化産業展及び菊花展)      | 三郷地域市民文化産業展実行委員会  |         |
| 52  | 三郷祭<br>(三郷地域市民運動会)             | 三郷地域市民運動会実行委員会  |         |
| 53  | 三郷祭<br>(三郷地域市民ふれあいコンサート)       | 三郷地域市民ふれあいコンサート実行委員会  |         |
| 54  | 三郷祭<br>(三郷地域市民芸能発表会)           | 三郷地域市民芸能発表会実行委員会  |         |
| 55  | 第9回常念フェスティバル                   | 常念フェスティバル実行委員会  |         |
| 56  | 堀金地域市民運動会                      | 堀金地域市民運動会実行委員会  | 文化課     |
| 57  | 堀金文化祭                          | 堀金文化祭作品展実行委員会、堀金文化祭芸能発表会(芸能祭)実行委員会                                |         |
| 58  | いいまちサロン                        | 明科いいまちつくろうかい!   |         |
| 59  | 第34回信州安曇野薪能                    | 信州安曇野薪能実行委員会  |         |
| 60  | 安曇野文化刊行事業                      | 安曇野文化刊行委員会  |         |
| 61  | 第21回あづみの公園早春賦音楽祭               | あづみの公園早春賦音楽祭実行委員会   |         |
| 62  | 安曇野さんぽ市2025                    | 安曇野さんぽ市実行委員会  |         |
| 63  | ふるさと探究事業と担い手育成事業               | NPO法人ふるさとづくり応援団   |         |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 第7回<br>安曇野・クラムザッハ友好市民コンサート   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野・クラムザッハ友好会  |   |
|       | 市側  | 政策部 政策経営課<br>企画担当  |   |

コンサート最後は出演者全員で演奏

## 【事業の概要】

|          |   |      |            |
|----------|---|------|------------|
| 取組の背景・課題 | クラムザッハとの交流は旧豊科町時代から続くものであるが市民への認知度が低い。この活動をより多くの市民に知っていただくため、音楽を中心とした文化大国として知られるオーストリアにちなみ、音楽コンサートを開いている。 |      |            |
| 事業の目的    | 姉妹都市のオーストリア共和国クラムザッハとの交流を市民に周知する。   |      |            |
| 成果目標     | 市とクラムザッハの交流成果を広く市民に伝えることができた。   |      |            |
| 実施場所     | 豊科公民館ホール  | 事業期間 | 令和7年10月19日 |
| 事業の概要    | 本年度は市制施行20周年記念として特別ゲストにバイオリニストの瀬崎明日香さんをお招きして開催し、約300人が来場した。併せて、3～4月にかけてクラムザッハに派遣された青少年6名による報告も行った。        |      |            |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                             |
|------|-------|-----------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | コンサートの開催                    |
|      | 相手側   | コンサート運営全般（演者・スタッフ手配、チラシ作成等） |
|      | 市側    | 負担金の支払、会場の手配、広報、当日の運営補助     |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 市制施行20周年として例年よりも広い会場で実施したことで、昨年比で100人ほど多い来場者を迎えることができ、交流事業を広く周知できた。      |
| 協働による効果   | クラムザッハとの交流継続に向け、行政だけでなく市民も一緒に友好活動を盛り上げていこうという機運を高めることができた。               |
| 課題・改善点    | 参加者や運営に関わった皆様には好評を得る一方で、クラムザッハとの交流を知らない人が多いとの意見も聞くので、交流自体に目を向けてもらう工夫が必要。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |
|-------|-----|--|
| 事業の名称 |     | 官民協働事業・イオン豊科店「わが街 NAVI」  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（協働広告） |
| 実施団体  | 相手側 | イオン豊科店、(株)サイネックス   |
|       | 市側  | 政策部 秘書広報課秘書広報 担当   |



（説明）デジタルサイネージの設置状況

## 【事業の概要】

|          |   |      |         |
|----------|---|------|---------|
| 取組の背景・課題 | 背景：(株)サイネックスとの協同事業として、地域住民が集うイオン豊科店に設置されたデジタルサイネージを活用し、行政情報や地域情報などを発信する。<br>課題：情報パネルへの動画掲載、インフォパネルへの静止画情報掲載において多くの方に関心を持ってもらえる伝わる広報力が求められる。 |      |         |
| 事業の目的    | デジタルサイネージを活用した行政情報、市公共施設からのお知らせなどの、情報を発信する。   |      |         |
| 成果目標     | (株)サイネックスとの協働により、行政情報や地域情報などを発信する。  |      |         |
| 実施場所     | イオン豊科店  | 事業期間 | 令和4年9月～ |
| 事業の概要    | インフォメーションパネルは、市が定期的にイベントの情報を更新し、同店へ来店された方に行政情報、地域情報を動画や静止画でタイムリーに情報発信している。設置費用などは、広告収入で賄い、市の財政負担はなしの“ゼロ予算事業”であり、(株)サイネックスと市が協働で運用している。      |      |         |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                                 |
|------|-------|---------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 動画情報の更新手続き                      |
|      | 相手側   | 広告主の募集及び広告掲載                    |
|      | 市側    | 行政情報の掲載管理、動画情報の掲載依頼、情報ラックへの資料設置 |

## 【実施結果】

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 行政情報や地域情報などを発信（掲載内容：動画1本、静止画45件） |
| 協働による効果   | タイムリーな情報発信により、事業を効果的に実施することができた。 |
| 課題・改善点    | 多くの方に関心を持ってもらえる伝わる広報力の向上         |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 若年層の性暴力被害予防月間パネル展  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |   |
|       | 市側  | 政策部    人権共生課    人権共生係担当  |   |

展示の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |                |
|----------|---|------|----------------|
| 取組の背景・課題 | 新生活が始まるこの時期に若年層が被害に遭いやすいため、被害予防の意識を高める必要がある。              |      |                |
| 事業の目的    | 毎年4月が「若年層の性暴力被害予防月間」となっており、こうした取組を知ってもらい、課題に対して興味を持ってもらう。 |      |                |
| 成果目標     | 全国及び県内の若年層の性被害等の状況をパネルで展示し、来庁者の関心を高め、若年層の性暴力被害予防を図る       |      |                |
| 実施場所     | 本庁舎   | 事業期間 | 令和7年4月1日～4月25日 |
| 事業の概要    | パネル展示を通じて、若年層の性暴力被害予防を図る                                  |      |                |

## 【協働の役割分担】


|          |       |           |
|----------|-------|-----------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | パネル展の準備   |
|          | 相手側   | 地域への広報、活用 |
|          | 市側    | 事務（展示準備）  |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 若年層の性暴力被害予防に関する認知が広まった。                                 |
| 協働による効果   | より多くの方に展示を見てもらうことができ、啓発を行うことができた。                       |
| 課題・改善点    | 年間の啓発展示が多いため、課題に対し興味関心を持ってもらうような内容やアプローチの方法を考えていく必要がある。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 共生社会づくり講座<br>「誰もが安心できる社会とは」  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会          4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |  |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |  |   |

渡邊先生の講義

## 【事業の概要】

|          |   |      |           |
|----------|---|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 特に年齢層の高い世代には、「ジェンダー」がなかなか浸透しない。現代の日本社会におけるジェンダーの課題を学ぶことで関心を高めることが必要。  |      |           |
| 事業の目的    | 誰もが安心できる社会とは何か、ジェンダーの観点から考える機会を設ける。   |      |           |
| 成果目標     | 市民を対象に、共生社会について考える講座を実施し、共生社会に対する理解や関心を深める機会とする。  |      |           |
| 実施場所     | 本庁舎   | 事業期間 | 令和7年4月10日 |
| 事業の概要    | 長野県立大学の渡邊さやか先生をお招きし、「誰もが安心できる社会とは」と題し、「ジェンダー」とは何か、現代の日本社会におけるジェンダーの現状・課題やジェンダーの歴史等を学びながら、「安心できる社会」について、参加者と一緒に考える講座を開催。 |      |           |

## 【協働の役割分担】


|          |       |              |
|----------|-------|--------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 当日の運営        |
|          | 相手側   | 地域への広報       |
|          | 市側    | 事務（事前準備、広報等） |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 「ジェンダー」及びジェンダー課題の現状を学ぶ機会とする。                            |
| 協働による効果   | 祖父母世代となる高齢層の参加者の参加も多く、幅広い年代に向けてジェンダーについて考えるきっかけづくりとできた。 |
| 課題・改善点    | 参加者の固定化が懸念される。開催日時等から参加者のニーズに合った講座の検討が必要。               |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 男女共同参画週間パネル展示  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（              ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |  |   |
|       | 市側  | 政策部    人権共生課    人権共生係  |  |   |

展示の様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |                 |
|----------|--|------|-----------------|
| 取組の背景・課題 | 毎年6月23日～6月29日が男女共同参画週間となっているものの、市内の男女共同参画に関する意識の高まりにはつながっていない。                               |      |                 |
| 事業の目的    | パネルを展示することで、来庁する市民に関心を持ってもらうため。  |      |                 |
| 成果目標     | 男女共同参画週間を知ってもらい、様々な分野で男女共同参画が必要であることを知ってもらう。   |      |                 |
| 実施場所     | 本庁舎 1F 東ロビー  | 事業期間 | 令和7年6月16日～6月30日 |
| 事業の概要    | SDGsの重要な要素に位置づけられている男女共同参画について説明、各種データの展示を通し、男女共同参画及び共生社会づくりの必要性を感じてもらい、興味・関心を持ってもらえるよう啓発する。 |      |                 |

## 【協働の役割分担】


|          |       |          |
|----------|-------|----------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 展示       |
|          | 相手側   | 各組織への伝達  |
|          | 市側    | 事務（展示準備） |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 来庁された市民の方へ男女共同参画推進の重要性を知ってもらうきっかけとなった。 |
| 協働による効果   | 男女共同参画に関する課題を共有することができ、地域での展示等へ活用ができた。 |
| 課題・改善点    | 展示そのものを見てもらえる工夫が必要。                    |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | まんまるカラフルまつり<br>(安曇野市共生社会づくりフォーラム)  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力(協定)<br>3. 実行委員会            4. その他(            ) |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市共生社会づくりフォーラム<br>実行委員会  |  |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |  |   |

シンポジウムの様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 年齢・性別・国籍・障害の有無等に関わらず、誰もが個性と能力を発揮し、活躍する共生社会の実現が求められている。   |      |           |
| 事業の目的    | 「共生社会」について市民により一層の関心を持ってもらい、「安曇野市多様性を尊重し合う共生づくり計画」や「共生社会」への理解促進を図る。  |      |           |
| 成果目標     | 「共生社会」とは何か、ともに考え実践に結びつけていくための交流の場の機会とする。   |      |           |
| 実施場所     | 研成ホール  | 事業期間 | 令和7年10月4日 |
| 事業の概要    | 東京芸術大学の伊藤達矢教授をお招きし「共生社会×アート」をテーマにしたシンポジウムと、市内アーティストのカミジョウミカさんとワークショップを開催した。また、併せて市内で活躍する団体の紹介を兼ねたインクルーシブマルシェも開催。 |      |           |

## 【協働の役割分担】

|          |       |              |
|----------|-------|--------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | イベントの実施      |
|          | 相手側   | 当日の準備、運営     |
|          | 市側    | 事務(実行委員会事務局) |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 多くの人が「共生社会」とは何か、体験を通して考えるきっかけとなった。            |
| 協働による効果   | 関係団体の意識づくりにつながった。                             |
| 課題・改善点    | 共生社会づくりという広いテーマのため、自分事のできる切り口で、啓発を続けていくことが必要。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | あづみの国際 DAY！2025  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（                      ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | あづみの国際化ネットワーク  |  |   |
|       | 市側  | 政策部    人権共生課    人権共生係  |  |   |

各国のブースの様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 市内の外国籍市民は増加傾向であり、外国籍住民が地域社会の構成員として、お互いに心地よく暮らしていくために、文化や習慣の違いを相互に理解し、受け入れる多文化共生の意識づくりが必要である。 |      |           |
| 事業の目的    | 地域住民が国籍を超え尊重し合うことで、多様性を生かした地域の創造を図る。   |      |           |
| 成果目標     | 協働による多文化共生の意識づくり   |      |           |
| 実施場所     | 研成ホール  | 事業期間 | 令和7年10月5日 |
| 事業の概要    | 物品・食品販売、ワークショップ、文化紹介等<br>ステージ出演（民族舞踊の発表等）  |      |           |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                           |
|------|-------|---------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 出展・出演者募集、事前説明会、会場準備及び片付け等 |
|      | 相手側   | 司会・進行等                    |
|      | 市側    | 配布資料作成等                   |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 様々な文化を学ぶきっかけづくりとなった。   |
| 協働による効果   | 悪天候もあり、来場者は少なかったものの、出演者も含め楽しいイベントとできた。                       |
| 課題・改善点    | 共催として長年行ってきたが、相手方にとっては制約が多いため、先方の目指す事業や意向に沿うために、翌年からは後援としたい。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 日本語 de スピーチ大会 & 対話会  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（              ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | あづみの国際化ネットワーク  |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |   |

スピーチをした方々

## 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 市内の外国籍市民は増加傾向であり、外国籍住民が地域社会の構成員として、お互いに心地よく暮らしていくために、文化や習慣の違いを相互に理解し合い、受け入れる多文化共生の意識づくりが必要である。 |      |           |
| 事業の目的    | 外国籍市民等への理解促進   |      |           |
| 成果目標     | 協働による多文化共生の意識づくり   |      |           |
| 実施場所     | 穂高交流学習センターみらい  | 事業期間 | 令和7年8月24日 |
| 事業の概要    | 地域に暮らす外国籍市民等が、暮らしの中での想い等を日本語で発表するとともに、聴講者との「対話会」を行う。   |      |           |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                          |
|------|-------|--------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 広報、会場準備及び片付け等            |
|      | 相手側   | 発表者の募集、原稿作成の支援等          |
|      | 市側    | 多文化共生パネル展等による周知、配布資料等準備等 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 参加者、発表者ともに多文化共生を考えるきっかけづくりとなった。                             |
| 協働による効果   | 発表者の幅の広がり等、一定の効果が得られた。                                      |
| 課題・改善点    | 共催として長年行ってきたが、相手方にとって制約が多いため、先方の目指す事業や意向に沿うために、翌年からは後援としたい。 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 女性に対する暴力をなくす運動パネル展示  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |   |

展示の様子

### 【事業の概要】

|          |  |      |                |
|----------|--|------|----------------|
| 取組の背景・課題 | 例年11月12日～25日が「女性に対する暴力をなくす運動」期間であるが、認知度が低く、関心も高まっていない。 |      |                |
| 事業の目的    | 市民に対して性犯罪・性暴力の防止に関心をもってもらう。                            |      |                |
| 成果目標     | 女性に対する暴力をなくす運動を知ってもらい、市民の性犯罪・性暴力の防止に対する意識を高める。         |      |                |
| 実施場所     | 本庁舎 1階西ロビー   | 事業期間 | 令和7年11月12日～28日 |
| 事業の概要    | パネル展示を通じて、女性に対する暴力をなくす運動の周知を図る。                        |      |                |

### 【協働の役割分担】


|      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | パネル展の準備、片づけ |
|      | 相手側   | 地域への広報、活用   |
|      | 市側    | 事務（バナー作成等）  |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 「女性に対する暴力をなくす運動」及びパープルリボン運動の認知を広める機会にできた。          |
| 協働による効果   | 団体に周知を協力いただいたことにより、多くの方に展示を見てもらうことができ、啓発を行うことができた。 |
| 課題・改善点    | 啓発を継続し、より行動変容につながる内容の検討が必要。                        |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 「親だからこそ伝えたい 性といのちのおはなし」<br>(性教育講座)                       |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催      2. 事業協力 (協定)<br>3. 実行委員会      4. その他 (      ) |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク                                      |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係                                      |   |

講座の様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |            |
|----------|---|------|------------|
| 取組の背景・課題 | 「性」や「性教育」は生きていくうえで、とても大切なものだが、敬遠されがちであり、正しい知識を学ぶ機会があまりない。                                       |      |            |
| 事業の目的    | 11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、包括的セクシュアリティ教育の視点から、子どもや子どもを取り巻く大人が自分自身を大切にし、他者を尊重すること学ぶ機会とする。 |      |            |
| 成果目標     | 安心して性について話してもらえる環境づくりを学んでもらう。   |      |            |
| 実施場所     | 堀金公民館 講堂  | 事業期間 | 令和7年11月22日 |
| 事業の概要    | 若年層の性教育を行う組織 NPO ピルコンの染谷明日香さんを講師にお招きし、講座を通じて、性に関する知識を学んだり、共有したりする機会とする。                         |      |            |

### 【協働の役割分担】

|      |       |               |
|------|-------|---------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 当日の運営         |
|      | 相手側   | 地域への広報、講師への対応 |
|      | 市側    | 事務 (事前準備、広報等) |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 性に関して学び直しの機会、きっかけづくりとなった。                |
| 協働による効果   | 子育て世代から祖父母世代まで、さまざまな年代層の人が一緒に学び合う機会にできた。 |
| 課題・改善点    | 事前のすり合わせ等、より綿密な打ち合わせを心がけ、集客方法等の改善が必要。    |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | ホンデリングデー   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | 認定特定非営利活動法人<br>長野犯罪被害者支援センター   |  |  |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |  |  |

本等の受付

### 【事業の概要】

|          |   |      |            |
|----------|---|------|------------|
| 取組の背景・課題 | 犯罪被害者支援について市民が直接関わり、取り組みを知ってもらう機会であり、また、長野県安曇野警察署及び、松本人権擁護委員協議会安曇野部会、安曇野地区保護司会が市とともに共催となることで広く犯罪被害者支援につなげる。 |      |            |
| 事業の目的    | 継続的な実施により、市民の犯罪被害者支援への理解や協力の促進を目指す。   |      |            |
| 成果目標     | 犯罪被害者支援に資すること   |      |            |
| 実施場所     | 市役所本庁舎東ロビー  | 事業期間 | 令和7年11月25日 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本、CD/DVD、ゲームソフト等の回収</li> <li>・リユース本による募金の受付</li> </ul>              |      |            |

### 【協働の役割分担】


|      |       |  |
|------|-------|--|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 内容の検討、会場準備及び片付け。                                     |
|      | 相手側   | 集まった本等のとりまとめ。  |
|      | 市側    | プレスリリース、広報誌、SNS等による市民への周知。<br>当日受付の協力。1月30日までの寄付の受付。 |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 本・CD・DVD・ゲームソフト 20箱分（当日分のみ）  |
| 協働による効果   | 市が主体的に広報を行うことで広く市民に周知することができた。   |
| 課題・改善点    | 各団体との連携を図り、多くの寄付をいただいたが、子どもや若年層の来庁が少ないと感じている。来年度は若年層への啓発をどのように行うか、効果的に周知を図れたらと考える。 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |   |  |   |
|-------|-----|---|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野から考える人権展   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（            ）                      |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本人権擁護委員協議会安曇野部会</li> <li>・安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク</li> </ul> |  |   |
|       | 市側  | 政策部    人権共生課    人権共生係   |  |   |

展示の様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 共生社会づくりを推進するため、「人権」や「共生社会」について市民により一層の関心を持ってもらう必要がある。   |      |               |
| 事業の目的    | 人権啓発の展示を通して、人権尊重の意識を啓発し、すべての人の人権が尊重されるまちづくりに資することを目的とする。  |      |               |
| 成果目標     | 多文化共生や男女共同参画、ユニバーサルデザインに対し関心を持ってもらう。  |      |               |
| 実施場所     | 貞享義民記念館   | 事業期間 | 令和7年12月9日～26日 |
| 事業の概要    | クイズ形式のユニバーサルデザインのパネルをはじめ、多文化共生パネル、男女共同参画パネル、10月に開催したカミジョウミカさんのワークショップにおいて制作した作品等を展示し、多様性の尊重や人権の啓発を行う。 |      |               |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                 |
|----------|-------|-----------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 周知              |
|          | 相手側   | 展示用品の援助等        |
|          | 市側    | 事務（展示パネル作成、設営等） |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 来館者に人権について考えてもらうきっかけとなった。   |
| 協働による効果   | 共催した団体内での意識啓発ができた。また、団体の関係者から展示したパネルの貸し出しの依頼もあり、より多くの人目に触れる機会の創出につながった。 |
| 課題・改善点    | より興味を持ってもらえる内容の検討や誰もが活躍できる共生社会にするための各個人の行動変容を促す展示を検討する。                 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野市人権のつどい   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（                      ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市企業人権教育推進協議会<br>松本人権擁護委員協議会   |  |   |
|       | 市側  | 政策部 人権共生課 人権共生係<br>教育部 生涯学習課 社会教育係<br>教育部 学校教育課 教育総務係                                |  |   |

講演会の様子

### 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 法務省が定める毎年12月4日から10日の「人権週間」に合わせて重点的な啓発活動を実施し、人権尊重意識の普及を図る。  |      |           |
| 事業の目的    | 市民等の人権尊重意識の普及  |      |           |
| 成果目標     | 協働による人権尊重の意識づくり  |      |           |
| 実施場所     | 豊科公民館ホール   | 事業期間 | 令和7年12月6日 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演（講師：姜 尚中さん）</li> <li>・ 第44回全国中学生人権作文コンテスト（受賞者なし 過去優秀作展示のみ）</li> <li>・ 人権デザインプロジェクトポスター等の展示</li> </ul> |      |           |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 参加者募集、会場準備及び片付け等      |
|      | 相手側   | 人権啓発イベント等での周知、司会進行等   |
|      | 市側    | 講師手配、広報物作成、進行シナリオの作成等 |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 人権について考えるきっかけづくりにすることができた。                                    |
| 協働による効果   | 今年度は市制20周年記念イベントとして著名人を招き、企業や団体等広く呼び掛けたことで、例年より多くの方にご参加いただけた。 |
| 課題・改善点    | 参加者の年齢層に偏りがあるため、より幅広い世代の市民等に参加していただけるよう内容や開催方法等を検討する必要がある。    |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 世界を知ろう、触れ合おう！<br>韓国編   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（              ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市国際交流協会   |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |   |

講座の様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |          |
|----------|--|------|----------|
| 取組の背景・課題 | 市内の外国籍市民は増加傾向であり、外国籍住民が地域社会の構成員として、お互いに心地よく暮らしていくために、文化や習慣の違いを相互に理解し合い、受け入れる多文化共生の意識づくりが必要である。 |      |          |
| 事業の目的    | 多文化を学ぶ講座を実施し、多文化共生の理解促進を図る   |      |          |
| 成果目標     | 協働による多文化共生の意識づくり   |      |          |
| 実施場所     | 豊科交流学習センター<br>きぼう  | 事業期間 | 令和7年8月3日 |
| 事業の概要    | 韓国の食べものや文化等日本との違いを紹介   |      |          |

## 【協働の役割分担】


|          |       |                 |
|----------|-------|-----------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 広報、会場準備及び片付け等   |
|          | 相手側   | 受付、司会進行等        |
|          | 市側    | 講師との調整、必要物品の準備等 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 韓国の文化をより深く学ぶことで、多文化共生を考えるきっかけとできた。                   |
| 協働による効果   | 市からの広報と併せ、団体が周知を行うことで、より幅広い層に参加を呼び掛けることができ、啓発につながった。 |
| 課題・改善点    | 関係者の打合せをより綿密に行い、準備や運営をスムーズに行えるよう改善する。                |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | ピンクシャツデー展示   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |  |   |
|       | 市側  | 政策部    人権共生課    人権共生係  |  |   |

実施団体の皆様

### 【事業の概要】

|          |  |      |              |
|----------|--|------|--------------|
| 取組の背景・課題 | 毎年2月の最終水曜日は、ピンク色のものを身に着けることで、いじめ反対の意思表示を示す運動「ピンクシャツデー」である。重大な人権侵害であるいじめをなくすとともに、セクシュアリティに対する偏見をなくす必要がある。 |      |              |
| 事業の目的    | バナー展示等により来庁者及び職員に向けた意識啓発を行う。   |      |              |
| 成果目標     | いじめ防止と性的マイノリティへの理解を高める。  |      |              |
| 実施場所     | 本庁舎 1階東ロビー   | 事業期間 | 令和8年2月9日～26日 |
| 事業の概要    | ピンクシャツデー、性的マイノリティに関する展示  |      |              |

### 【協働の役割分担】


|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | パネルの準備、片付け |
|      | 相手側   | 地域への広報、活用  |
|      | 市側    | 事務（バナー作成等） |

### 【実施結果】

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | いじめ防止と性的マイノリティに関する認知が広まった。        |
| 協働による効果   | より多くの方に展示を見てもらうことができ、啓発を行うことができた。 |
| 課題・改善点    | 啓発を継続し、より行動変容につながる内容の検討が必要。       |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 国際女性デー展示   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク  |   |
|       | 市側  | 政策部   人権共生課   人権共生係  |   |

展示の様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |                  |
|----------|---|------|------------------|
| 取組の背景・課題 | 毎年、3月8日は国連が定めた「国際女性デー」であり、社会的、経済的、文化的、政治的な女性の権利と国際平和を祝う日、男女平等を加速させる日とされている。 |      |                  |
| 事業の目的    | バナー展示等により来庁者及び職員に向けた意識啓発を行う。  |      |                  |
| 成果目標     | 3月8日の国際女性デーを周知し、ジェンダーに関する課題に目を向けてもらう機会とする。                                  |      |                  |
| 実施場所     | 本庁舎 1階東ロビー  | 事業期間 | 令和8年3月3日～27日（予定） |
| 事業の概要    | 国際女性デーに関する展示  |      |                  |

### 【協働の役割分担】


|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | パネルの準備、片付け |
|      | 相手側   | 地域への広報、活用  |
|      | 市側    | 事務（バナー作成等） |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 国際女性デーに関する認知を広げる。  |
| 協働による効果   | 消防団事業（女性消防隊）を題材とし、防災関係者への周知も図ったので、例年展示に来なかった層にも見ていただく機会となった。 |
| 課題・改善点    | 啓発を継続し、より行動変容につながる内容の検討が必要。                                  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |   |   |
|-------|-----|---|---|
| 事業の名称 |     | 光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. <span style="border: 1px solid black;">実行委員会</span> 4. その他（                      ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>まちづくり推進担当   |   |

安曇野市制施行 20 周年記念事業  
光城山タイムカプセルお披露目会

### 【事業の概要】

|          |  |      |                                |
|----------|--|------|--------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 観光の名所として知られる光城山の桜は、麓から山頂まで徐々に開花する様子が「昇り龍」に例えられ、地域に親しまれている。しかし、近年老木化が進み、早期の植え替えが課題となっていた。課題解決を図るためには、市民及び市が協働で取り組む必要があり、平成 26 年度に光城山の所有者や地元区、NPO と市にて、「光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト」を設立した。  |      |                                |
| 事業の目的    | 市民と市が協働で桜の植栽を進めるとともに、光城山及び周辺地域一体は、豊かな自然環境や城山としての歴史・文化など多くの魅力があるため、市民へ広く発信し、市の一体感の醸成を図ることを目的とする。  |      |                                |
| 成果目標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「昇り龍」を維持し、桜の名所としての光城山を守る。</li> <li>・光城山の魅力を高める。</li> </ul>   |      |                                |
| 実施場所     | 光城山一帯  | 事業期間 | 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 |
| 事業の概要    | 令和 7 年度は、市制施行 20 周年記念事業として、平成 27 年度の市制施行 10 周年記念事業において記念植樹とあわせて埋設したタイムカプセルのお披露目会を実施した。また、平成 26 年度に植栽した桜の生育状況を確認し、不要な保護柵の撤去を行った。さらに、光城山の魅力向上を目的として、地元農家による軽トラ市を年 3 回開催したほか、光城山周辺集落の歴史を学ぶ歴史講座の開催、これまでのプロジェクトの活動内容や光城山の魅力を紹介するパネル展示を実施した。 |      |                                |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                                   |
|----------|-------|-----------------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 各事業の企画運営、作業の実施 など                 |
|          | 相手側   | 桜の育成管理 など                         |
|          | 市側    | 予算の執行、事業の進捗管理、保険加入、事業参加者のとりまとめ など |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 不要となった保護柵を撤去した。軽トラ市や歴史講座、パネル展示により光城山の魅力を高めた。                                |
| 協働による効果   | 双方が主体的に役割を担い合い、各種事業を実施し、成果を達成することができた。                                      |
| 課題・改善点    | プロジェクトは令和 7 年度末を以て解散する。解散後においても、ボランティア団体等と連携しながら、持続可能な管理の仕組みづくりを進めていく必要がある。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |   |   |
|-------|-----|---|---|
| 事業の名称 |     | ゆるくつながる出会いの場<br>(通称 ゆるつな)                                 |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力(協定)<br>3. 実行委員会   4. その他(協力・参加型) |   |
| 実施団体  | 相手側 | ゆるつな運営チーム   |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>まちづくり推進担当                                 |   |

ゆるつな茶話会の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 市民団体同士、団体と市民が気軽に交流し、つながりを生み出す場として令和3年度より実施。                         |      |               |
| 事業の目的    | 市民活動に取り組む方や何か活動を始めたい方等様々な人が気楽に集まりゆるくつながることで、情報交換や連携のきっかけをつくる。       |      |               |
| 成果目標     | 交流の場を作り、市民及び団体同士の連携・つながりを生み出す。                                      |      |               |
| 実施場所     | 市役所本庁舎、堀金支所   | 事業期間 | 令和7年5月～令和8年2月 |
| 事業の概要    | 市民有志によるゆるつな運営チームの協力のもと運営を行う。集まった人同士で自由に話しながら情報交換できる「ゆるつな茶話会」を年7回実施。 |      |               |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                                  |
|------|-------|----------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 当日の運営全般、事業広報                     |
|      | 相手側   | 参加者呼び込み                          |
|      | 市側    | 会場・必要機材の準備、ホームページ等への掲載、チラシの作成・配布 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 参加者同士でつながり共同の企画を立ち上げるなど、新たな活動につながった。  |
| 協働による効果   | 行政だけでなく、市民も運営側に加わることで、事業目的である「ゆるくつながる」雰囲気づくりができた。その雰囲気により参加者の満足度が高く、リピーターの獲得や、毎回新規の参加があり、つながりを広げる効果的な場になっている。 |
| 課題・改善点    | 以前は毎回プログラムを設定していたが、R6年度から自由に交流する茶話会形式を主にするすることで、参加者の幅が広がった。   |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |   |  |   |
|-------|-----|---|--|---|
| 事業の名称 |     | あづみの市民活動フェスタ 2025   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. <span style="border: 1px solid black;">その他</span> （協力・参加型） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 市民活動フェスタ参加団体  |  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>まちづくり推進担当   |  |   |

出展団体の皆さん

## 【事業の概要】

|          |   |      |                                 |
|----------|---|------|---------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 市民一人ひとりのまちづくりへの参加促進を図るため、市民活動について広く市民に周知する機会として、令和元年度から実施。                        |      |                                 |
| 事業の目的    | 広く市民が市民活動や協働のまちづくりについて知り、参加するきっかけとする。   |      |                                 |
| 成果目標     | 市民が各団体の活動に触れることで、市民活動に対する関心を高め理解を深める。   |      |                                 |
| 実施場所     | ANC アリーナ、<br>市役所本庁舎（パネル展示のみ）  | 事業期間 | 令和7年9月28日<br>（パネル展示のみ9月13日～25日） |
| 事業の概要    | 令和7年度は「発見×まち×あなた＝まちのワクワクスイッチ ON!」をテーマに実施。43 団体が参加し、ブース出展やステージ発表、パネル展示で日頃の活動をPRした。 |      |                                 |

## 【協働の役割分担】


|      |       |   |
|------|-------|---|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企画内容検討、当日の運営全般                          |
|      | 相手側   | 広報活動・チラシ作成                              |
|      | 市側    | 出展団体とりまとめ、会場確保、機材の準備、ホームページ等への掲載、チラシの配布 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 43 団体が出展し、ブース出展、ステージ発表、パネル展示を通じ各団体の活動を多くの市民にPRすることができた。 |
| 協働による効果   | 今年度はフェスタ開催前に参加団体の交流会を実施し、フェスタ開催に向けて一体感を作ることができた。        |
| 課題・改善点    | 会場の定着が課題。会場によって出展方法等、事業の実施方法が変わってしまう。                   |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |   |   |
|-------|-----|---|---|
| 事業の名称 |     | 第46回あづみ野祭り  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力（協定）<br>3. <span style="border: 1px solid black;">実行委員会</span> 4. その他（        ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 第46回あづみ野祭り実行委員会   |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>まちづくり推進担当   |   |

第46回あづみ野祭り当日の様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |  |
|----------|---|------|--|
| 取組の背景・課題 | 昭和50年代ごろから、夏に各区で行われていた盆踊りの活気がなくなり、その状況を憂いた当時の豊科町長の呼びかけで、あづみ野祭り実行委員会が組織され、それ以来、夏の風物詩として市民に親しまれている。   |      |  |
| 事業の目的    | あづみ野祭りをとおして市民の連帯感と「心のふるさと」づくりに努め、観光の促進と文化厚生の発展に資し、かつ、産業経済の進展に寄与すること。                                |      |  |
| 成果目標     | 踊りの伝承を目的にあづみ野祭りを開催することで、地元住民の交流機会、特に子どもたちが楽しみにする伝統行事の体験機会とする。                                       |      |  |
| 実施場所     | 国道147号(新田交差点⇄成相交差点)及び駅前通り(市川歯科医院交差点⇄八十二銀行豊科支店交差点)   | 事業期間 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日<br>【事業実施日：<br>令和7年7月26日(土)】 |
| 事業の概要    | 7月の最終土曜日に国道147号線と駅前通りを会場として行う。地区公民館や企業などが踊り連として参加し、あづみ野ばやし踊りを楽しむ。当日の踊り参加者等に向け踊りの練習会を企画し、伝統文化の継承を行う。 |      |  |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 当日の運営                 |
|      | 相手側   | あづみ野祭りの企画立案、交通防災対策の検討 |
|      | 市側    | 補助金の交付、会議や踊りの練習会場等の手配 |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 当日は来場者約15,000人、踊り連33連(約2,300人)が参加した。公民館や企業が踊り連として数多く参加したことで、多くの地域住民が伝統行事を体験することができ、あづみ野祭りへ参加した市民間の交流を深めることができた。 |
| 協働による効果   | お互いの特性を活かした運営により、上記の成果をあげることができた。   |
| 課題・改善点    | 商店街のにぎわいが衰退している現状があるため、お祭りの会場の見直し等、協議を進めていく必要がある。   |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | アルプス花街道事業  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | アルプス花街道実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>まちづくり推進担当  |  |   |

苗定植後の生育・管理状況の巡視

### 【事業の概要】

|          |   |      |                        |
|----------|---|------|------------------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野を訪れる皆さんを気持ちよくお迎えしようという機運が長野冬季五輪を機に高まり、広く市民に参加を募り、旧豊科 IC（安曇野 IC）付近の沿道に花を植える活動が始まった。現在は、市内全域に活動が広がっている。      |      |                        |
| 事業の目的    | 住民の創意工夫による美しい景観の形成により、安曇野へ訪れる人々を歓迎するとともに、活動を通じた絆や生きがいがづくり等による地域コミュニティの形成に寄与することを目的とする。                        |      |                        |
| 成果目標     | マリーゴールドの植栽及び除草等の管理により沿道の景観美化を維持する   |      |                        |
| 実施場所     | 市内9か所の沿道（県道柏矢町田沢停車場線ほか）及び市シニアクラブ連合会活動区画   | 事業期間 | 令和7年4月1日<br>～令和8年3月31日 |
| 事業の概要    | 毎年参加を希望する個人・団体で実行委員会を構成し、市内9か所の沿道等でマリーゴールドの植栽及び除草等の管理を行い、景観形成に努める。一部の区画では、県、実行委員会、市の三者でアダプトシステム協定を締結し、実施している。 |      |                        |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                              |
|----------|-------|------------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | マリーゴールドの植栽等沿道管理              |
|          | 相手側   | 実行委員会の運営                     |
|          | 市側    | 委託料の支払、参加団体の取りまとめ、広報、事務局の補佐等 |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 51 団体（1,000 名）及び市シニアクラブ連合会 20 団体（540 名）の参加により、沿道の景観美化に努めることができた。              |
| 協働による効果   | 市民と行政が目的を共有し、多くの団体等の主体的な参加により安曇野市の景観形成に取り組むことができた。                            |
| 課題・改善点    | 参加団体数が減少しており、景観美化が行き届いていない区画がある。<br>役員が固定化、高齢化してきており、新たな担い手の発掘、管理体制に工夫が必要である。 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | ふるさと夏祭り  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | ふるさと夏祭り実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり 課<br>三郷地域担当  |  |   |

花火打上

### 【事業の概要】

|          |   |      |                  |
|----------|---|------|------------------|
| 取組の背景・課題 | 旧三郷村の昭和 61 年から実行委員会主催によって開催されている。多くの市民により親しまれ夏の恒例行事として定着している。                                     |      |                  |
| 事業の目的    | 市民相互の交流と連帯感を高め、ふるさと意識の醸成と地域振興を目的としている。  |      |                  |
| 成果目標     | 夏祭りの開催により、幅広い世代による交流とふるさとへの愛着を高め、地域の活性化と振興を図る。  |      |                  |
| 実施場所     | 三郷文化公園周辺  | 事業期間 | 令和 7 年 8 月 1 1 日 |
| 事業の概要    | 各団体が構成する実行委員会が主体となり、出店、ステージ発表、抽選会や打ち上げ花火など多様なイベントにより祭りを盛り上げている。寄付金や協賛金、補助金で運営され地域を挙げてのイベントとなっている。 |      |                  |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                              |
|------|-------|------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企画、運営、会場準備及び片付け              |
|      | 相手側   | 寄付金・協賛金の確保、各関係機関への連絡調整、備品の整備 |
|      | 市側    | 補助金の交付、会場確保、広報、看板準備          |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 今年度は雨天となり、会場を急遽三郷文化公園体育館に変更した。予定していたイベントは中止となったものもあったが、多くの市民が来庁し、住民同士の親睦、地域活性化の役割は果たせた。 |
| 協働による効果   | 市、商工会、区、学校などそれぞれが主体的に取り組み、円滑な祭りの運営が図られた。  |
| 課題・改善点    | 安全対策等に係る費用の増額に対し、安定的な収入を確保する必要がある。また、雨天時の計画を綿密に練っておく必要がある。                              |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 信州ふるさとの道ふれあい事業<br>(アダプトシステム)                         |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催      2. 事業協力(協定)<br>3. 実行委員会   4. その他 (      ) |   |
| 実施団体  | 相手側 | 岩原ひまわりクラブ  |   |
|       | 市側  | 市民生活部地域づくり課堀金地域担当                                    |   |

作業の様子（今年度の写真ではありません）

### 【事業の概要】

|          |  |      |        |
|----------|--|------|--------|
| 取組の背景・課題 | 美化活動を通して子どもからお年寄り並びに事業所までが共に協力、交流をしながら、住みよい・美しい岩原区を作り上げ、地域活性化を図るために活動が始まる。平成 25 年 7 月 2 日に岩原ひまわりクラブ・市・安曇野建設事務所で 3 者協定を結ぶ。  |      |        |
| 事業の目的    | 長野県が管理する道路において、地域住民が主体で行う道路の美化活動を行政が支援し、生活空間の一部である道路への愛着心を深めていただき、地域環境の向上を図る。  |      |        |
| 成果目標     | 花の植栽や美化清掃作業等により、活動区間を良好な環境に保つ。   |      |        |
| 実施場所     | 主要地方道塩尻鍋割穂高線<br>(堀金烏川(岩原)地区)   | 事業期間 | 5月～11月 |
| 事業の概要    | 岩原ひまわりクラブは、地域住民と協力し、歩道及び歩道に設置された植樹帯等に花などを植え、良好な地域環境の保持に努める。市は、岩原ひまわりクラブ及び建設事務所との連絡調整を行うとともに、岩原ひまわりクラブが収集したゴミの処理に協力する。建設事務所は、活動区間に団体名等を記載した表示板を設置するとともに、岩原ひまわりクラブの希望により、必要な清掃用具、材料等を貸与又は支給する。 |      |        |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                         |
|----------|-------|-------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | なし                      |
|          | 相手側   | 歩道及び歩道に設置された植樹帯等の美化清掃作業 |
|          | 市側    | ゴミ処理                    |

### 【実施結果】

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 活動区間の美化のため、各々の役割分担により、花の植栽等を実施した。 |
| 協働による効果   | 道路の美化と地域環境の向上                     |
| 課題・改善点    | 花の管理の省力化、クラブ員高齢化による後継クラブ員の確保。     |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | 安曇野明科あやめまつり  |  |  <p>2025 あやめまつりフォトコンテスト<br/>最優秀賞作品「青空に向かって」</p> |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | あやめまつり実行委員会  |  |  |
|       | 市側  | 市民生活部 地域づくり課<br>明科地域担当   |  |  |

## 【事業の概要】

|          |   |      |          |
|----------|---|------|----------|
| 取組の背景・課題 | 昭和 60 年（1985 年）旧明科町が町制施行 30 周年記念事業として開催。平成 5 年にはあやめ公園が完成し、あやめの栽培を通じた地域づくりを続けている。3 年に一度の株分けなど、花の管理が課題である。  |      |          |
| 事業の目的    | 水郷明科のあやめの魅力を広く伝え、永く後世に残し、あやめまつりを通して人と人との和を広げるとともに、地域の絆を深め、魅力的な地域づくりをしていく。   |      |          |
| 成果目標     | 市民相互の交流促進と賑わいを創出し、地域の活性化を図る。  |      |          |
| 実施場所     | あやめ公園・龍門淵公園ほか明科地域一円   | 事業期間 | 毎年 6 月中旬 |
| 事業の概要    | 雄大な北アルプスを背景に咲く花菖蒲と交流を楽しむイベントとして、花菖蒲の開花時期に合わせて 6 月中旬の 2 日間、あやめ公園及び龍門淵公園を主会場に開催する。開催に先立ち、実行委員、地域住民、地元中高生が、あやめ公園の清掃活動を行う。特設ステージでのイベントに加え、ラフティング体験、にじますのつかみどり、芸能発表会及びフォトコンテストを実施する。 |      |          |

## 【協働の役割分担】


|          |       |                                     |
|----------|-------|-------------------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | あやめ公園の清掃活動、事前準備、安曇野明科あやめまつり催事運営     |
|          | 相手側   | 催事企画・運営、出演者・出店者調整、会計事務              |
|          | 市側    | 事務局（会議開催・資料作成、届出・申請事務、各種調整）、補助金交付事務 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 約 10,000 人の来場者で賑わった。世代を超え市民相互の交流促進につながった。 |
| 協働による効果   | 地域住民、地域団体、地元高校生等が中心的な役割を担い催事を開催できた。       |
| 課題・改善点    | 来場者の交通誘導及び自主財源の確保が課題である。                  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野環境フェア 2025  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（        ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野環境フェア実行委員会  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 環境課<br>環境政策担当  |   |

環境フェア当日の様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |                          |
|----------|---|------|--------------------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野市環境基本計画策定を機に、計画推進の取り組みとして2008年から開催されている。安曇野市内外で環境に関する活動を展開している方の活動紹介の場を設け、来場者が身近な環境に興味をもつことができるイベントを目指している。                          |      |                          |
| 事業の目的    | 環境に関する課題を市民が共有できる場を提供する。出展者と来場者の交流を深め、フェアにこれまで参加していなかった人を巻き込みながら、つながりの環を広げていくことを目的とする。  |      |                          |
| 成果目標     | 参加者数 2000人以上  |      |                          |
| 実施場所     | 堀金総合体育館<br>堀金中央公園   | 事業期間 | 令和7年9月14日<br>10月4日～10月5日 |
| 事業の概要    | 環境への取組を行う市民団体や企業のブース出展、リサイクル自転車の販売が行われ、来場者が身近な環境に興味を持つことができるイベントを開催している。今年度は市政20周年のため、プレイベントである講演会を企画し、安曇野の外来種や希少種の普及啓発を通して、フェアの宣伝に努めた。 |      |                          |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                              |
|------|-------|------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企画立案・実施、実行委員会の開催、会場準備、当日運営   |
|      | 相手側   | 実行委員会への出席、ポスター・チラシ配布         |
|      | 市側    | 予算執行（市一般会計）、出展者募集・対応、公園申請、広報 |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 来場者数 2200 人を記録し、環境活動に取り組む企業・団体が計 48 のブースを出展した。参加者が生活の中でできる環境への心がけを考える場となった。    |
| 協働による効果   | 環境への取組を通じ、参加者・実行委員・行政の交流がはかられた。  |
| 課題・改善点    | 来年度以降、実行委員会形式から当日ボランティア形式に移行する。会議出席などの負担を減らし、より気軽にフェア当日の運営に関わってもらえるような方策を検討する。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 不用食器リサイクル活動  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市不用食器リサイクル実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 環境課<br>資源循環推進担当  |  |   |

## 【事業の概要】

|          |  |      |   |
|----------|--|------|---|
| 取組の背景・課題 | 家庭から排出される食器はごみとして埋め立て処分されるが、ごみ減量化・循環型社会形成の観点から、埋め立て処分を減らすことが求められている。   |      |   |
| 事業の目的    | 不用食器の再利用及び再資源化により、ごみの減量を図り循環型社会の形成を促進する。   |      |   |
| 成果目標     | 市民と協働で不用食器の回収を行ってリユースの場を提供し、ごみの減量化と資源の有効活用につなげる。   |      |   |
| 実施場所     | 豊科県民グラウンド駐車場   | 事業期間 | ～ |
| 事業の概要    | <p>令和7年9月28日に不用食器の回収を行い、同会場に配布スペース（「もったいない市」）を設け、同日同会場で配布した。</p> <p>また、10月4・5日開催の安曇野市環境フェアでも「もったいない市」を実施し、不用食器の配布を実施した。</p> <p>また、回収した食器の内約2.2トン、陶土の原料として再資源化するため、岐阜県土岐市の処理業者に運搬し、2トン余りの食器を配布し資源の有効活用を図った。</p> |      |   |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                                |
|------|-------|--------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 会場準備・片付け                       |
|      | 相手側   | 不用食器の仕分けや搬入者の誘導等、再利用スペースの運営    |
|      | 市側    | 回収場所の提供、不用食器の運搬・運搬費用の負担・住民への広報 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 十分に達成できた。                              |
| 協働による効果   | 役割分担により、事業を効果的に実施することができた。             |
| 課題・改善点    | 雨天となった場合の対応について、より詳しく確認しておいた方が良いと思われる。 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 明科駅周辺<br>まちあるき空き家・空き店舗見学会  |  <p>見学会の様子</p> |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（            ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 明科駅周辺まちづくり委員会  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 移住定住推進課 空家活用係  |   |

### 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | <p>明科地域は少子高齢化や人口減少が進み、令和4年4月に市内で一部過疎地域の指定を受けた。駅周辺は公共施設や店舗など生活に利便性の高いコンパクトシティとして暮らしやすい環境であるが、空き家の増加によりまちが空洞化し魅力や活力が衰退してきている。</p> <p>まちの魅力を情報発信しながら、空家の利活用を促進することで、移住や創業など交流、関係人口の創出から人口増加につなげることが課題となっている。</p> |      |               |
| 事業の目的    | <p>空き家に加えて、空き家の利活用事例見学や、ガイドによるまちの歴史、文化などの魅力を情報発信し、移住や創業から生まれる人や地域とのつながりを体感することで、参加者と明科地域との関係性を生み出し、明科のまちに賑わいを取り戻すこと。</p>  |      |               |
| 成果目標     | <p>明科地域の魅力発信と空き家物件の活用促進。（移住や創業など多様な利活用の機会の成立）</p>   |      |               |
| 実施場所     | 明科駅周辺   | 事業期間 | 令和7年4月～令和8年3月 |
| 事業の概要    | <p>年間4回開催。明科駅周辺のまちなかに点在する空家や利活用物件（龍門涿てらすなど）の内覧によるマッチング及び活用事例紹介とともに、地域に精通したガイドから歴史や文化、まちの魅力を紹介している。</p>  |      |               |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                                    |
|----------|-------|------------------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒に取組 | 事業の企画、運営、空き家物件の掘り起こし、活用のマッチング促進    |
|          | 相手側   | イベント統括、まちなかガイド、空き家活用・創業・移住相談       |
|          | 市側    | 負担金（ガイド・建築士）、空き家所有者交渉、開催通知、制度案内・相談 |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 数件マッチングがあり、達成できた。  |
| 協働による効果   | <p>情報を共有、活用することで、所有者と利活用希望者による多様なマッチングの機会が生まれている。龍門涿てらすでは、空き家活用や移住相談に直接、対応しており、官民連携による総合的な空き家対策が進んできている。</p> |
| 課題・改善点    | <p>空き家を活用した地域活性化に対する所有者及び地域への理解浸透、未利用物件の活用促進</p>   |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 空き家相談セミナー&個別相談会  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（指定法人） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市空家等管理活用支援法人  |   |
|       | 市側  | 市民生活部 移住定住推進課 空家活用係  |   |

相談会の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |        |
|----------|---|------|--------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野市内の空き家のうち、半数以上の所有者が県外在住者であるが、市内で相談会を開催しても参加が見込めない。また、市職員のみでの相談会は専門知識の不足、特定の業者や物件の案内ができないなど、すぐに課題解決やマッチングにつながりにくい。                    |      |        |
| 事業の目的    | 空き家管理の意識が希薄になりがちな県外在住の空き家所有者や、空き家を探している移住希望者をターゲットに、空き家の解消方法や利活用について具体的にイメージすることができる場として、専門家団体に協力を仰ぎ、所有者及び移住希望者の割合の多い首都圏在住者への相談機会を創出する。 |      |        |
| 成果目標     | 空き家の掘り起こしと所有者が抱える課題解決   |      |        |
| 実施場所     | 東京都   | 事業期間 | 令和8年1月 |
| 事業の概要    | セミナーと相談会を組み合わせ実施。相談会は空き家所有者向けのブースと移住希望者のブースに分け、2日間で最大30組程度相談を受ける。   |      |        |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                           |
|------|-------|---------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 空き家セミナー・相談                |
|      | 相手側   | 専門的な視点での相談、アフターフォロー       |
|      | 市側    | 謝礼（セミナー登壇者）、企画、運営、申込受付、広報 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 始めて申し込んだ方が多く、その後の現地確認等にもつながり、達成できた。                               |
| 協働による効果   | 具体的かつ専門的な相談により、効果的な相談会となった。                                       |
| 課題・改善点    | 一部の方はセミナーと個別相談の時間が空くためセミナーへの参加を見送る方もおり、セミナーによる所有者の空き家問題の啓発になりにくい。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | 専門家による空き家相談会①  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | NEX-T 安曇野  |  |  |
|       | 市側  | 市民生活部 移住定住推進課<br>空家活用係   |  |  |

（説明）相談会チラシ

## 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野市内の空き家戸数は、令和6年12月末時点で1024戸確認され、そのうち800戸程度は利活用可能なものとなっている。しかしながら所有者は様々な悩みや問題を抱え、活用まで至らないケースが多く課題となっている。 |      |               |
| 事業の目的    | 空き家の利活用が進まない原因の一つである相続登記問題について、制度改正の周知と併せ継続的な相談体制を整えることで、空き家を地域資源として、市の活性化につなげていくことを目的とする。                |      |               |
| 成果目標     | 制度周知と補助金活用等による空き家の利活用   |      |               |
| 実施場所     | 市役所本庁舎  | 事業期間 | 令和7年4月～令和8年3月 |
| 事業の概要    | 空き家所有者の相談に対し、所有者の様々な悩みや問題へのアドバイスを行う。  |      |               |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                     |
|------|-------|---------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 事業の企画、運営            |
|      | 相手側   | 専門家派遣調整・相談対応        |
|      | 市側    | 広報、申込受付、相談調整、補助金等案内 |

## 【実施結果】

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 相談案件が空き家バンク掲載につながるなど概ね達成 |
| 協働による効果   | 専門家による的確なアドバイスが行えた。      |
| 課題・改善点    | 平日相談が困難な方への対応            |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | 専門家による空き家相談会②  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | （一社）全国空き家アドバイザー協議会<br>長野県安曇野支部   |  |  |
|       | 市側  | 市民生活部 移住定住推進課<br>空家活用係   |  |  |

（説明）相談会チラシ

## 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野市内の空き家戸数は、令和6年12月末時点で1024戸確認され、そのうち800戸程度は利活用可能なものとなっている。しかしながら所有者は様々な悩みや問題を抱え、活用まで至らないケースが多く課題となっている。 |      |               |
| 事業の目的    | 空き家所有者の相談機会の提供  |      |               |
| 成果目標     | 補助金活用等による空き家の利活用  |      |               |
| 実施場所     | 市役所本庁舎  | 事業期間 | 令和7年4月～令和8年3月 |
| 事業の概要    | 空き家所有者の相談に対し、所有者の様々な悩みや問題へのアドバイスを行う。  |      |               |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                        |
|------|-------|------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 事業の企画、運営               |
|      | 相手側   | 専門家派遣調整、申込受付、相談調整、相談対応 |
|      | 市側    | 広報、補助金等案内              |

## 【実施結果】

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 相談案件が空き家バンク掲載につながるなど概ね達成 |
| 協働による効果   | 専門家による的確なアドバイスが行えた。      |
| 課題・改善点    | 平日相談が困難な方への対応            |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 地域見守り活動連携協定に関する官民連携推進会議                              |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（      ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野市地域見守り活動に関する連携協定締結団体                              |   |
|       | 市側  | 福祉部 高齢者介護課 包括支援担当                                    |   |

高齢者向け活動や課題について情報共有

## 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 市では高齢者等が安心して暮らせる地域社会を形成するため、市内で活動する団体等と「地域見守り活動に関する連携協定」を締結している。これらの団体と市の高齢者施策や高齢者支援の方向性を共有し、新たな取組みを探るために令和7年度に初めて開催したもの。  |      |           |
| 事業の目的    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の高齢者施策や高齢者支援の方向性の共有</li> <li>・民間企業等が抱える高齢者に関する課題の共有</li> </ul>  |      |           |
| 成果目標     | 市と民間企業が高齢者に関する課題を共有し、新たな取組みを探るきっかけを作り出す。   |      |           |
| 実施場所     | 豊科交流学習センターきぼう  | 事業期間 | 令和7年7月17日 |
| 事業の概要    | <p>「地域見守り活動に関する連携協定」締結団体のうち市が事務局を担う団体や職能団体を除いた民間企業26団体に参加を依頼し、以下の情報を共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の高齢者施策や高齢者支援の概要について</li> <li>・民間企業が地域で活動・営業する中での高齢者に関する課題等について</li> </ul> |      |           |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                        |
|------|-------|------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 高齢者の課題等の情報提供           |
|      | 相手側   | 高齢者向け活動や高齢者の課題について情報提供 |
|      | 市側    | 出席団体の調整、会場確保、資料作成 等    |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 10 団体に参加いただき、地域支え合い推進フォーラムのブース展示等で協力いただけたこととなる。 |
| 協働による効果   | 市と民間企業が足並みをそろえて高齢者支援の取組をするための土壌を整えた。            |
| 課題・改善点    | 参加されなかった団体との情報共有をどのように行っていくか。                   |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 令和7年度 安曇野市地域支え合い推進<br>フォーラム  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（                      ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 1 NPO法人 JA あづみくらしの助け合いネットワークあんしん<br>安曇野市社会福祉協議会<br>2 安曇野市地域見守り活動に関する連携協定締結団体         |   |
|       | 市側  | 福祉部 高齢者介護課<br>包括支援担当   |   |

民間企業の展示ブースにおける健康チェック

## 【事業の概要】

|          |  |      |           |
|----------|--|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 地域の支え合い活動等を紹介し、地域住民一人ひとりが主体的に関わる地域づくりを進めるため、生活支援体制整備事業において平成29年度から開催している。                            |      |           |
| 事業の目的    | 令和7年度のフォーラムは高齢者が自分らしく生きるために必要なことは何か、地域の事例をヒントに考えるとともに、地域で活動する多様な主体とつながることで実践に移すきっかけをつくることを目的として開催した。 |      |           |
| 成果目標     | 大学教授による基調講演、地域の支えあい事例の紹介、展示ブースの体験を通して、高齢者に自分らしく生きるためのきっかけをつかんでいただく。                                  |      |           |
| 実施場所     | 安曇野市役所4階 大会議室  | 事業期間 | 令和8年2月21日 |
| 事業の概要    | 毎年、情勢に沿ったテーマを設定し、あわせて講師や事例紹介者を選定する。また、見守り協定締結団体に協力を依頼し、テーマに沿った形で民間企業の取組展示やサービス案内、商品販売等を行っていただく。      |      |           |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                                     |
|------|-------|-------------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | フォーラムの会場準備、当日における来場者のブース誘導、列整理 等    |
|      | 相手側   | 事例紹介、展示内容の計画・準備・当日のブース対応 等          |
|      | 市側    | フォーラム内容の検討、講師・参加団体等の調整、展示ブースの場所確保 等 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 一般来場者144名の方が、12団体（見守り協定団体のみ）の展示ブースを体験等していただき、地元の企業の取組を知ることができた。 |
| 協働による効果   | 市民、民間企業が地域の支えあいの取組を知るとともに、お互いのニーズと支援をつなげることができた。                |
| 課題・改善点    | 展示ブース団体が固定化してきているため、新たな団体の参加を促したい。                              |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野玉ねぎ祭り   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. <b>実行委員会</b> 4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野玉ねぎ祭り実行委員会参加団体（者）   |  |   |
|       | 市側  | 農林部   農政課   生産振興担当   |  |   |

玉ねぎ収穫体験の様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |               |
|----------|--|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 旧豊科町が「安曇野とよしな玉ねぎ祭り」として開催。1997年（平成9）に当時の豊科町が「玉ねぎまちづくり連絡協議会」を設け、町を挙げて生産振興を進めてきた。玉ねぎに含まれる栄養が注目されるなか、砂質土壌で水はけが良い安曇野の地は玉ねぎ栽培に適しており、市内で広く生産がされている。また、水田の転作作物として安定して定着化しつつある。 |      |               |
| 事業の目的    | 「安曇野玉ねぎ祭り」を実施し、安曇野市の主要農産物である「玉ねぎ」を通じて消費者との結び付きを強め、地産地消による地域農業振興を図ることを目的とする。  |      |               |
| 成果目標     | 「玉ねぎ」を通じて消費者との結び付きを強め、産地としての周知を図る。   |      |               |
| 実施場所     | 市内参加団体圃場   | 事業期間 | 令和7年6月14日～15日 |
| 事業の概要    | 市内参加団体圃場において、玉ねぎの販売及び収穫体験を行う。  |      |               |

## 【協働の役割分担】

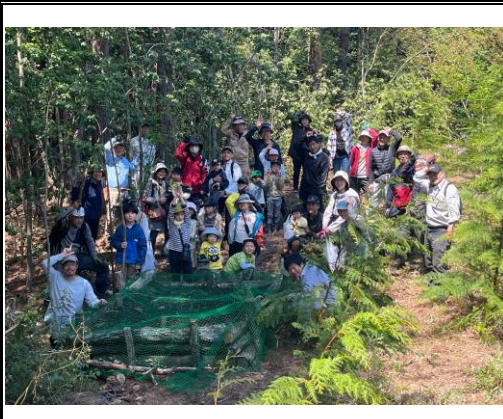
|      |       |                            |
|------|-------|----------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 運営方法の検討及び決定                |
|      | 相手側   | 参加団体圃場において、玉ねぎの販売及び収穫体験を行う |
|      | 市側    | 事務局（広報・連絡調整）               |

## 【実施結果】

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 産地として、またイベントも周知され多くの方に来場いただけた。      |
| 協働による効果   | 「玉ねぎ」を通じて消費者との結び付きを強め、産地としての周知を図れた。 |
| 課題・改善点    | 開催時期の調整と生産者の確保                      |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |                   |             |   |
|-------|-----|-------------------|-------------|---|
| 事業の名称 |     | 里山再生計画推進事業        |             |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催             | 2. 事業協力（協定） |   |
|       |     | 3. 実行委員会          | 4. その他（ ）   |   |
| 実施団体  | 相手側 | 市民・事業者            |             |   |
|       | 市側  | 農林部 耕地林務課<br>林務担当 |             |   |

さとぷろ。イベントの様子

### 【事業の概要】

|          |   |      |          |
|----------|---|------|----------|
| 取組の背景・課題 | <p>生活様式の変化から里山の利用が減り、放置された森林が増加した結果、水源涵養機能、土砂災害防止機能の低下、林縁部においては鳥獣被害等様々な問題発生しており、多くの皆さんに関心を持ってもらう必要がある。</p> <p>このような問題の解決に取組むため、「安曇野市里山再生計画」を策定。</p> |      |          |
| 事業の目的    | <p>現在の生活様式にあった里山の利用から再生に繋げていくため、市民・事業者が主体となり、行政と連携した里山再生の取組を進める。</p>  |      |          |
| 成果目標     | <p>里山をあるべき姿に再生し、元気な里山を取り戻す</p>  |      |          |
| 実施場所     | 市内全域（里山）  | 事業期間 | 平成27年4月～ |
| 事業の概要    | <p>安曇野市里山再生計画に掲げた「里山の未来像」に共感した市民・事業者・行政が集う4つのプロジェクト（里山まきの環プロジェクト、里山木材活用プロジェクト、里山学びの環プロジェクト、里山の魅力発見プロジェクト）が計画推進の主力となり、市内の里山で様々な取組を進める。</p>           |      |          |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                           |
|------|-------|---------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 里山再生につながる全ての活動            |
|      | 相手側   | 里山再生活動につながる各種事業の考案及び事業開催等 |
|      | 市側    | さとぷろ。事務局の運営               |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | <p>計画策定から10年間にわたる取組により、「さとぷろ。」の活動の環が広がりを見せている。</p> |
| 協働による効果   | <p>里山再生に携わる多様な主体が連携しながら取組むことの相乗効果</p>              |
| 課題・改善点    | <p>さらなる里山関係人口を増やすための広報活動の強化。</p>                   |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |                 |   |
|-------|-----|--|-----------------|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野市穂高北穂高地区産業用地整備事業                                  |                 |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（      ） |                 |   |
| 実施団体  | 相手側 | 株式会社ヤマウラ・株式会社d-ネクスト                                  |                 |   |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部  | 商工労政課<br>商工労政担当 |   |

(株)ヤマウラ・(株)d-ネクストとの協定調印式（R6年3月）

## 【事業の概要】

|          |   |      |           |
|----------|---|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 市内外企業からの新たな事業用地を求めるニーズが大きいことから、新たな産業用地開発が必要となった。  |      |           |
| 事業の目的    | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業の事業規模拡大に伴う移転先の確保</li> <li>市外企業の受入先の確保</li> </ul>   |      |           |
| 成果目標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業の移転先を確保し、市内企業を市内へ留め、市民の雇用を維持する。</li> <li>市外企業を新たに誘致し、市民の雇用創出、地域経済のさらなる活性化を図る。</li> </ul> |      |           |
| 実施場所     | 穂高北穂高   | 事業期間 | 令和6年3月～未定 |
| 事業の概要    | 穂高北穂高地区の青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地を新たな産業用地として開発する。本事業では、市が単独で開発するのではなく、民間の開発ノウハウや資金力を活用し、スピード感のある開発を目指す。                                 |      |           |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                              |
|------|-------|------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企業誘致、地元説明                    |
|      | 相手側   | 設計・測量、地権者交渉、用地取得、許認可取得、造成、分譲 |
|      | 市側    | 地域未来法に基づく計画策定、周辺インフラ整備の協力    |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 第1期開発において2社の企業進出を予定（令和8年秋頃から造成開始予定）<br>第2期開発に向け、企業誘致を実施中   |
| 協働による効果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者のネットワークを活用した企業誘致が可能となっている。</li> <li>地権者交渉や整備計画等の専門的な業務を民間事業者が担い、行政負担の軽減に繋がっている。</li> </ul> |
| 課題・改善点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺自治体の団地開発と差別化を図り、いかに付加価値の高い産業団地として構築するかが課題</li> </ul>  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |                                  |             |
|-------|-----|----------------------------------|-------------|
| 事業の名称 |     | 信州安曇野食の感謝祭                       |             |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                            | 2. 事業協力（協定） |
| 協働の形態 |     | 3. 実行委員会                         | 4. その他（ ）   |
| 実施団体  | 相手側 | 信州安曇野食の感謝祭実行委員会<br>（事務局：安曇野市商工会） |             |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部 商工労政課<br>商工労政担当        |             |



（説明）信州サーモン・安曇野林檎ナポリタン PR ブース

### 【事業の概要】

|          |  |      |                      |
|----------|--|------|----------------------|
| 取組の背景・課題 | 平成 25 年に安曇野市の魅力を更に高めるため、安曇野市の地域資源を活用した市民や観光客が集えるイベントとして、「新そばと食の感謝祭」としてスタート。平成 27 年からは「農林業まつり」と同時開催となり、コロナ禍のため各飲食店をめぐるスタンプラリーによる開催を経て、令和 5 年度から、安曇野の「食」と特産品の魅力を再発見していただく機会として「信州安曇野食の感謝祭」としてリニューアル開催。秋のイベントとして市内外での認知度が上がっている。地域経済への波及効果が継続することを目指す。  |      |                      |
| 事業の目的    | 安曇野のおいしい産物を再発見していただくことで、新たなファンを獲得すると共に、安曇野のブランド力の更なる向上により、地域経済の活性化を図る。また、地域資源を活かした新商品を試験的に販売する場として活用することで、事業者の新規顧客の確保、販路拡大への契機とする。   |      |                      |
| 成果目標     | 開催 2 日間における集客人数 30,000 人   |      |                      |
| 実施場所     | 穂高神社特設会場   | 事業期間 | 令和 7 年 11 月 1 日～ 2 日 |
| 事業の概要    | <p>長野県、近隣地区長、業種別各種団体、安曇野市商工会等と共に実行委員会を組織し、信州安曇野食の感謝祭を以下のとおり開催した。</p> <p>◎ 北神苑特設ステージイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内団体の活動発表、地元高校書道部のパフォーマンス、姉妹都市の PR など</li> <li>・けん玉パフォーマンス、大道芸などファミリー、子供向けイベントなど</li> <li>・ステージ周辺 着ぐるみ回遊（アルクマ、みずん、わさっぴ、友好都市キャラ）</li> </ul> <p>◎ 出店</p> <p>○ 北神苑会場（表参道・本殿周辺含む）（62 ブース（北 47+表参道ほか 15））</p> <p>■安曇野グルメエリア</p> <p>スイーツエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元野菜を使用した安曇野やさいスイーツの PR 販売</li> <li>・安曇野市菓子製造組合による和菓子の PR 販売</li> </ul> <p>安曇野グルメエリア</p> |      |                      |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野わさびを使用した商品やメニュー、わさび丼（各日 200 食）の販売</li> <li>・安曇野林檎ナポリタン、信州サーモンを使用したメニューの PR 販売</li> <li>・安曇野の肉、野菜、米、わさびを使用した商品やおやき等特産品の PR 販売（キッチンカー含む）</li> <li>・地酒、ワイン、クラフトビールなどの試飲及び PR 販売</li> </ul> <p>■地酒を楽しむ会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米どころ信州の地酒を、「神前蔵元そば前酒飲み比べ会」として有料で提供</li> </ul> <p>○ 南神苑会場</p> <p>■特設ブース（20 ブース）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工連中信管内事業者による地産地消を主に安全、新鮮な農林水産品や地元食材を取り入れた加工品の PR 販売（木曾町・筑北村・麻績村・生坂村・松川村・小谷村）</li> <li>・友好都市による特産品の販売（埼玉県三郷市・奈良県三郷町・東京都江戸川区）</li> <li>・関係団体による特産品、加工品、クラフト作品などの PR 販売</li> <li>・猟友会によるジビエ料理の紹介、鹿の角加工ワークショップ、猟具の展示</li> <li>・さとぷろによる里山汁の提供、木工ワークショップ</li> <li>・市民団体の招致により能登半島地震被災地から出張輪島朝市出店、募金活動</li> </ul> <p>○ 本殿前</p> <p>■豊穰宝船神前奉納（11/1）</p> <p>○ 参集殿周辺</p> <p>■豊穰宝船奉納野菜配布（11/2）</p> <p>■子ども向け体験イベント（参集殿 1F 特設会場）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲冑を着用しての無料記念撮影</li> <li>・射的、ボーリングなど子供向けコーナー</li> </ul> <p>【穂高神社境内で同時開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県無形民俗文化財指定「穂高人形飾り」、「菊花展」</li> </ul> |
|--|--|

### 【協働の役割分担】

|          |       |  |
|----------|-------|--|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 実行委員会/連絡調整会議の開催/運営体制の確立/スタッフの確保・協力依頼/当日の運営 |
|          | 相手側   | 出展募集/会場設営/事業者委託 等                          |
|          | 市側    | 施設予約/備品借用/アルクマ対応 等                         |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 2 日間来客：30,000 人（延べ人数）   |
| 協働による効果   | 事業の目的を共有し、多くの出展者の協力のもと 2 日間のイベントが盛大に開催され、安曇野市の農産品や加工品等を味わっていただく機会となった。                  |
| 課題・改善点    | 年々出店数が増加している。地域資源の活用や新商品開発などを優先事由とした出店事業者の調整等について検討し、「安曇野の食」をより実感できる特色のあるイベントとなることを目指す。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野 APPLE HALLOWEEN2025  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（後援） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野 APPLE HALLOWEEN 実行委員会  |  |   |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部    観光課<br>観光促進担当   |  |   |

（説明） イベント会場の様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |               |
|----------|--|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | <p>旧国鉄篠ノ井線廃線敷にて駅からハイキングと併せたイベントとして 2020 年より実施し。今年で 6 回目の開催。</p> <p>昨年まで東日本旅客鉄道株式会社、明科駅周辺まちづくり委員会、ワインマルシェ実行委員会と連携し、それぞれが独立して協力する体制で実施。今後も安定的かつ持続可能な運営体制を構築するためには、調整・推進する実行委員会の立ち上げが必要であり、資金面や人材確保などの課題を乗り越え、地域一体となって本イベントを継続していくためにも、実行委員会形式での開催が望ましいと判断し今年の開催から実行委員会の立ち上げ。</p> |      |               |
| 事業の目的    | ハロウィンイベントを通して明科地域の魅力を再認識してもらう。また、JR を利用して県外から来た観光客に安曇野市を PR する。  |      |               |
| 成果目標     | 明科駅を含む明科地域の活性化   |      |               |
| 実施場所     | 旧国鉄篠ノ井線廃線敷<br>明科駅  | 事業期間 | 10 月最終土曜日・日曜日 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・潮神明宮から三五山トンネル間のハロウィン装飾</li> <li>・リンゴ、カボチャを用いたワークショップの開催・特産品の販売</li> <li>・飲食やクラフトブース等の出店・仮装コンテスト・FM あづみの公開放送</li> <li>・ステージイベントの開催・信州安曇野ワインマルシェの開催</li> </ul>   |      |               |

## 【協働の役割分担】

|          |       |                        |
|----------|-------|------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 運営方法決定、広報、当日の運営、課題の抽出。 |
|          | 相手側   | 事業準備、各種申請・手配。          |
|          | 市側    | 各種申請、関係団体調整。           |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 両日あわせて市内外から約 2,100 人が訪れ、交流人口の拡大に寄与した。                                     |
| 協働による効果   | 実行委員会を構成している団体と事務局を担っている市がそれぞれの役割を果たして事業を推進し、安曇野ファン獲得に大きな効果があった。          |
| 課題・改善点    | <p>3 団体の連携を強化する必要がある。</p> <p>屋外での開催の為、天気によって左右される。</p> <p>資金、人材不足の解消。</p> |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | 安曇野やさいスイーツプロジェクト   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野やさいスイーツプロジェクト   |  |  |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部 観光課<br>観光促進担当  |  |  |

商品発表会の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |                      |
|----------|---|------|----------------------|
| 取組の背景・課題 | <p>（背景）<br/>本プロジェクトは平成 22 年にスタートし、安曇野産の野菜を使用したスイーツであることを条件として、市産野菜のアピールや安曇野発の商品開発を行い、持続的な地域経済の活性化を図る。</p> <p>（課題）<br/>参加店舗の減少やテーマとする野菜のマンネリ化などが課題となっている。事業方針について、検討する必要がある。</p> |      |                      |
| 事業の目的    | 地産地消にこだわった新作スイーツイベント「やさいスイーツフェア」を開催することで、安曇野の自然の恵みを多くの人に伝え、安曇野市の新たな食の情報発信を行うことを目的とする。   |      |                      |
| 成果目標     | 「野菜×スイーツ」で地産地消を PR し、購入者の市内回遊を図り、安曇野産野菜のブランド力向上と、市の魅力を市内外へ発信することを目標とする。   |      |                      |
| 実施場所     | 安曇野市内<br>（合同販売イベント：<br>市役所本庁舎）  | 事業期間 | 令和 7 年 9 月下旬～同年 11 月 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月上旬～プロジェクト参加店舗が、安曇野産野菜を使った新作のスイーツを期間限定で販売する。</li> <li>・ フェアを通じ、観光・産業・野菜の生産振興につなげる。</li> </ul>                                       |      |                      |

## 【協働の役割分担】

|      |       |   |
|------|-------|---|
| 役割分担 | 一緒の取組 | やさいスイーツフェアの実施、合同販売イベントの開催                               |
|      | 相手側   | 補助金の申請、商品発表会への参加、合同販売イベントへの参加、フェア中の広報                   |
|      | 市側    | 事務局（広報物の作成、プレスリリース、商品発表会の実施、イベントの備品手配、シールラリー当選者への商品券発送） |


裏面へ続く

**【実施結果】**

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | シールラリー参加者は 45 名。活動を通じて、多くの方々に市内飲食店・菓子店を知ってもらい安曇野やさいスイーツの魅力を発信できた。   |
| 協働による効果   | 地元の老舗スイーツ店が多く参加していることから、市内の方への周知は徐々に広がりを見せている。  |
| 課題・改善点    | (課題)<br>参加店舗の減少やテーマとする野菜のマンネリ化などが課題となっている。<br>(改善点)<br>設立当初は安曇野市が実施してきた事業であるが、参加店舗が主体となり実施していく必要がある。イベント出展など、プロジェクトとして自主財源の確保に努める必要がある。 |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 市制施行 20 周年記念 第 18 回安曇野花火   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野花火実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部 観光課<br>観光促進担当  |  |   |

（説明）20 周年記念スターマインの様子

### 【事業の概要】

|          |  |      |             |
|----------|--|------|-------------|
| 取組の背景・課題 | 旧 5 町村が合併したことをきっかけに、市民の一体感の醸成と市の振興を目的に商工会青年部などが中心となり開催。      |      |             |
| 事業の目的    | 市民の一体感の醸成と、郷土の振興を目的とする。                                      |      |             |
| 成果目標     | 安曇野花火を通じた交流人口の拡大。  |      |             |
| 実施場所     | 明科御宝田遊水池周辺   | 事業期間 | 8 月 14 日（木） |
| 事業の概要    | 明科の御宝田遊水池周辺を会場として花火大会を開催する。周辺の交通規制や臨時駐車場を設けることなどで安全な大会運営を行う。 |      |             |

### 【協働の役割分担】

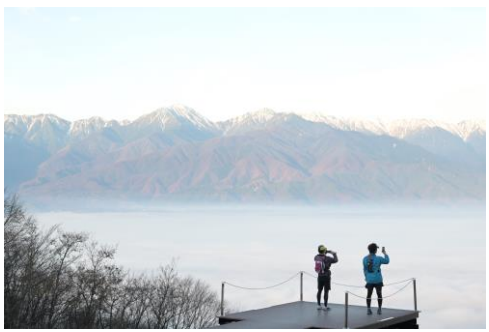
|          |       |                     |
|----------|-------|---------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 運営方法決定、当日の運営、課題の抽出。 |
|          | 相手側   | 各部会による事業準備、運営。      |
|          | 市側    | 各種申請、関係団体調整。        |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 今年度は、市内外から約 20,000 人が訪れ、交流人口の拡大に寄与した。  |
| 協働による効果   | 実行委員会を構成している団体と事務局を担っている市がそれぞれの役割を果たして事業を推進し、大きな誘客効果があった。  |
| 課題・改善点    | シャトルバスの運行や会場の変更を検討する必要がある。現在の会場での開催も含め、将来的な運営を考えていかなければならない。会場内の混雑の緩和を考え、警備や会場設営の計画を見直していく必要がある。また、業務負担が事務局・実行委員会・商工会の中で偏らないように改めて分担を見直す必要がある。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野雲海ロゲイニング 2025   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 信州安曇野ロゲイニング実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部    観光課<br>観光促進担当   |  |   |

（説明）競技中の様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |     |
|----------|--|------|-----|
| 取組の背景・課題 | あやめ祭りの一環として実施していたものを独立して実施している。市内各地域で競技を行ってきたが、今後のやり方を検討する必要がある。     |      |     |
| 事業の目的    | 安曇野を拠点にスポーツと観光を融合したロゲイニングを実施し、交流人口拡大を図る。                             |      |     |
| 成果目標     | ロゲイニングを通じた交流人口の拡大。   |      |     |
| 実施場所     | 安曇野市内  | 事業期間 | 不定期 |
| 事業の概要    | 毎年開催地域を変え、地域密着型のイベントとして開催。ロゲイニングを通じて安曇野市の魅力を発信し、安曇野ファンの増加や交流人口拡大を図る。 |      |     |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                        |
|------|-------|------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 運営方法決定、広報、当日の運営、課題の抽出。 |
|      | 相手側   | 事業準備、運営。               |
|      | 市側    | 各種申請、関係団体調整。           |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 今年度は明科地域をメイン会場とし市内外から約 221 人が参加し、交流人口の拡大に寄与した。  |
| 協働による効果   | 実行委員会を構成している団体と事務局を担っている市がそれぞれの役割を果たして事業を推進し、安曇野ファン獲得に大きな効果があった。<br>参加者の約 6 割が初参加と例年参加者数を増やすイベントとなっている。 |
| 課題・改善点    | 競技性を損なわずに、より観光色を強めていく必要がある。<br>実行委員会主体で宿泊や飲食といった方面への効果を高めていく必要がある。<br>また、二次交通の利用などの利用推進を図る。             |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 第 42 回早春賦まつり   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                    2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会        4. その他（            ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 早春賦まつり実行委員会  |   |
|       | 市側  | 商工観光スポーツ部 観光課<br>観光促進担当  |   |

（説明）まつりの様子

## 【事業の概要】

|          |  |      |            |
|----------|--|------|------------|
| 取組の背景・課題 | 日本を代表する叙情歌「早春賦」を後世に歌い継ぐとともに、早春賦を愛する心を持つ市内外の人による観光交流人口の拡大を図る。早春賦歌碑を知らない人・興味がない人にもイベントを通じて「早春賦」に関心を持ってもらう。 |      |            |
| 事業の目的    | 叙情歌「早春賦」を後世に歌い継ぐ、観光客の誘客を図る。  |      |            |
| 成果目標     | 県内外から来場者を集め、「早春賦」を歌い広める。   |      |            |
| 実施場所     | 穂高川右岸 早春賦歌碑前   | 事業期間 | 4月29日（火・祝） |
| 事業の概要    | 文化協会コーラス部合唱、アルパ・ミニハーブ演奏、会場全体による早春賦合唱。  |      |            |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 運営方法の決定、当日の運営、課題抽出。   |
|      | 相手側   | 出演者・関係団体との調整。         |
|      | 市側    | 各種申請・手配。出演者・関係団体との調整。 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 来賓の招待や、会場内での振る舞い、出店等に加え、積極的な広報も行ったため、かねてからの早春賦まつりのファンや来賓の方、参加者のファンなど約 300 人の来場があった。      |
| 協働による効果   | 合唱グループ、アルパ奏者の皆様に参加いただき、「早春賦」の合唱及び演奏を行う等「早春賦を後世に歌い継ぐ」という目的に沿った内容での開催ができた。                 |
| 課題・改善点    | 運営する実行委員会や参加しているコーラス部の高齢化、近隣小学校の合唱部の廃部など既存の内容での開催は難しくなっているため、楽器演奏者の参加など新たな内容を考えていく必要がある。 |



## 【協働の役割分担】


|          |       |                            |
|----------|-------|----------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 信州安曇野ハーフマラソンの計画、実施         |
|          | 相手側   | 実行委員会の運営、競技運営、安全対策、おもてなし   |
|          | 市側    | 補助金の支払、事務局、会計、共催後援申請、各種申請、 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | <p>マラソン大会評価サイトでは、全国の大会の中でも評価の高い大会である。他の大会が定員割れする中、市制施行 20 周年記念となった本大会は、エントリー開始からハーフマラソンの部は約 10 日、ファミリーランの部は約 2 時間で定員に達する大会となった。</p> <p>記念事業として全ランナー、全ボランティアを対象に記念品を配布する等の事業を盛り込んだ。</p> <p>ランナーとして、またボランティアとして大会に参加することによってマラソンやスポーツを始めるきっかけをつくり、参加者の中には大会を機に陸上競技を始め、全国大会に出場した選手もいた。</p> <p>市内企業の製品をおもてなし品として提供しており、大会を経るごとにより多くの協賛を賜るようになっている。</p> |
| 協働による効果   | <p>市民や市内企業・団体と行政が一体となり、マラソン大会の開催を通じて安曇野市の魅力発信や市民の一体感の醸成、スポーツに触れる機会の創出に取り組むことが出来た。</p>  |
| 課題・改善点    | <p>マラソン競技者数が減少した場合にも安定して大会参加者を獲得する必要がある。</p> <p>マラソン大会の運営費用の一部を市の補助金に頼っている状態であることから、市内企業の協賛社をさらに増やす取り組みをし、大会参加費用と協賛金等のみで大会運営を行える状態に変えていく必要がある。</p> <p>市外からの参加者を市内に引き留め、宿泊者数をさらに増やす取り組みを行う必要がある。</p>  |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野市コミュニティスクール   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（連携） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 地域住民、各種ボランティア団体等   |   |
|       | 市側  | 安曇野市立小中学校 17 校<br>（教育部 学校教育課 学校教育担当<br>生涯学習課 社会教育係）                      |   |

明南小学校 地域学校協働活動  
登下校の見守り

## 【事業の概要】

|          |   |      |                    |
|----------|---|------|--------------------|
| 取組の背景・課題 | 社会の変化により学校や地域、子どもたちを取り巻く課題が複雑化しており、社会総がかりで子どもの居場所づくりや、教員の業務負担軽減などの多様な課題に取り組んでいく必要がある。     |      |                    |
| 事業の目的    | 学校・地域・家庭がともに考える学校運営協議会と、ともに行動する地域学校協働活動を一体的に推進することで、地域ぐるみで子どもの学びと成長を支えとともに、よりよい社会の未来をつくる。 |      |                    |
| 成果目標     | 地域のさまざまな大人と子どものつながりを深め、地域コミュニティの活性化を図る。さらに、地域の人材や資源を活用し、子どもたちの学びの充実につなげる。                 |      |                    |
| 実施場所     | 小中学校及び地域  | 事業期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日 |
| 事業の概要    | 市内小中学校に設置された「学校運営協議会」で共有された目指すべき教育のビジョンを基に、各小中学校での学校ボランティア活動や、地域と学校による協働活動の実践を進める。        |      |                    |

## 【協働の役割分担】


|      |       |   |
|------|-------|---|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 地域学校協働活動の検討及び提案、活動への参加                    |
|      | 相手側   | 地域学校協働活動への参加、参加呼びかけ、活動の企画・提案、活動後の要望・感想の伝達 |
|      | 市側    | 地域学校協働活動の検討及び提案、活動支援、活動への参加               |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 写真のように、学校だけでは対応しきれない部分で、地域の方々の力を借りることで学校の支えとなっている。今後さらに事業を発展させていく必要がある。 |
| 協働による効果   | 子どもと地域住民とのつながりが生まれ、「支援」から「協働」という対等な関係性が構築されつつある。                        |
| 課題・改善点    | 地域住民への制度周知、敷居の低い学校づくり   |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |
|-------|-----|--|--|
| 事業の名称 |     | 令和8年二十歳の集い   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |
| 実施団体  | 相手側 | 令和8年 安曇野市二十歳の集い<br>実行委員会   |  |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課<br>社会教育係   |  |

（説明）実行委員の面々

### 【事業の概要】

|          |  |      |               |
|----------|--|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 令和4年4月の民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、これまで20歳＝新成人を対象に行ってきた式典は、成人を祝うための「成人式」ではなくなった。20歳を迎えた若者が集い式典を開催することの意義を、毎回、参加対象者が自ら考え、新たな式典像をつくり上げていく必要がある。 |      |               |
| 事業の目的    | たくましく成長を遂げ、20歳を迎えることとなった安曇野の若者たちが、自ら二十歳の集いを企画及び運営することで、生涯学習の一環として、社会参加と明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養い、新しい自分や仲間と出会い未来を拓くことを目的とする。                  |      |               |
| 成果目標     | 安曇野市にゆかりを持つ20歳の若者が一堂に会する式典を行うことで、「大人」としての自覚を持つとともに、ふるさと安曇野を思い合うきっかけをつくる。   |      |               |
| 実施場所     | 安曇野市総合体育館 等  | 事業期間 | 令和7年8月～令和8年2月 |
| 事業の概要    | 令和8年1月11日(日)開催「市制施行20周年記念 令和8年 安曇野市二十歳の集い（以下「式典」）」に係る企画・運営及び、Instagram投稿や記者発表会による広報活動、市からの記念品「記念冊子」の制作。                                      |      |               |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                                 |
|------|-------|---------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 実行委員会協議、式典運営                    |
|      | 相手側   | 「広報」・「企画」・「記念品」の3チーム毎の活動        |
|      | 市側    | 実行委員の募集・決定、式典の事前準備、参加者・来賓への開催通知 |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 参加者 688 名  |
| 協働による効果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の意向に沿った完成度・満足度の高い式典となった。<br/>（参加者アンケート：式典全体＝大変良い60%、良い38%<br/>交流企画＝大変良い74%、良い21%）</li> <li>市からの記念品として、思い出に残る記念冊子を作成することができた。</li> <li>実行委員の達成感を強く感じられる活動となった。</li> </ul> |
| 課題・改善点    | 前年度実行委員を務めた方4名にサポートスタッフとして参画いただき、企画・運営について実行委員へのアドバイスや、式典当日のサポートを行ってもらい大変有効であった。今年度の実行委員も4名程度が参画希望。こうした循環を継続していく。  |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|          |     |  |  |  |
|----------|-----|--|--|--|
| 事業の名称    |     | 安曇野市総合芸術展  |  |  |
| 協働の形態    |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>③. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |  |
| 実施<br>団体 | 相手側 | 安曇野市総合芸術展実行委員会   |  |  |
|          | 市側  | 教育部   生涯学習課   社会教育係<br>各地域公民館  |  |  |

総合芸術展会場の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |                |
|----------|---|------|----------------|
| 取組の背景・課題 | 合併後、地域を越えて安曇野市がひとつであるという認識を共有し、芸術・文化を通しての地域づくりを考える機会の創出が必要であった。   |      |                |
| 事業の目的    | 安曇野市公民館と協力して、市内で芸術文化に親しむ皆さんの作品を一堂に集め、展示する場を設けることにより、地域を越えて安曇野市がひとつであるという認識を共有し、芸術・文化を通しての地域づくりを考えることを目的とする。 |      |                |
| 成果目標     | 令和6年度来場者数（427人）を上回る展示・来場者数を目標とする。   |      |                |
| 実施場所     | 豊科交流学習センター  | 事業期間 | 令和8年3月5日～3月13日 |
| 事業の概要    | 各地域文化祭に出展された作品の中から選出されたものを一堂に集めて展示をし、芸術・文化を通しての地域づくりを進める。   |      |                |

## 【協働の役割分担】


|          |       |                            |
|----------|-------|----------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 総合芸術展の運営・企画全般の検討と実施、広報     |
|          | 相手側   | 総合芸術展出展作品の選定               |
|          | 市側    | 総合芸術展の広報用ポスター・チラシ・DMハガキの作成 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | ポスターやチラシ、DMハガキの配布並びにLine、X等の活用により令和7年度入場者実績は584人となり成果目標を達成することができた。 |
| 協働による効果   | 実行委員、地域公民館、社会教育係の協働により、入場者数は昨年度と比較して増加した。                           |
| 課題・改善点    | 来年度は、さらに入場者数を増やしていきたい。  |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 第63回童謡祭り<br>第45回作詞作曲コンクール                                    |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（        ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 童謡祭り実行委員会  |   |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課<br>豊科生涯学習係   |   |

## 【事業の概要】

第61回童謡祭り

|          |  |      |                    |
|----------|--|------|--------------------|
| 取組の背景・課題 | 「子どもに良い歌を」と願い、豊科町で続いてきた事業。合併後は安曇野市教育委員会が主催し、平成19年度から実行委員会が継承した。  |      |                    |
| 事業の目的    | 安曇野市豊科出身の詩人でドイツ文学者だった藤森秀夫先生の業績を顕彰するとともに、童謡の心を絶やすことなく伝えていくため。   |      |                    |
| 成果目標     | 童謡祭り及び市内児童生徒対象の作詞作曲コンクールを実施し、子どもたちが音楽に親しむ機会を創出する。  |      |                    |
| 実施場所     | 豊科公民館  | 事業期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日 |
| 事業の概要    | 第63回童謡祭り（期日：2月23日、会場：豊科公民館）において、藤森秀夫作詞の「めえめえ児山羊」を斉唱し、藤森先生の業績を顕彰した。併せて第45回作詞作曲コンクールの表彰及び最優秀曲の披露を行った。また、ピアノ・バイオリン・カホンのトリオ「Lien～リアン～」による招待演奏を行った。 |      |                    |

## 【協働の役割分担】


|          |       |                         |
|----------|-------|-------------------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 童謡祭り、作詞作曲コンクール表彰式の運営    |
|          | 相手側   | 実行委員会の運営                |
|          | 市側    | 学校との調整、作詞作曲コンクール応募作品の受付 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 地元出身の藤森先生の功績を顕彰することができた、また、子どもたちが音楽に親しむ機会となった。 |
| 協働による効果   | 市民と行政が目的を共有し、それぞれ役割を分担し取り組み、目標を達成することができた。     |
| 課題・改善点    | 事業開始以来、60年以上が経過した。時代に即した事業に発展させる必要がある。         |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 第20回豊科さわやか市民運動会  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会              4. その他（              ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | 豊科市民運動会実行委員会   |   |
|       | 市側  | 教育部      生涯学習課<br>豊科生涯学習係  |   |

## 【事業の概要】

|          |   |      |               |
|----------|---|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野市教育委員会と連携のもとに、豊科地域の運動会・体育祭の企画運営を行政と協働で進め、市民の健康増進と地域の活性化に寄与するため、市（豊科公民館）と実行委員会との協働で実施している                           |      |               |
| 事業の目的    | 豊科地域の市民が一堂に会し、運動会を通じて体力や健康づくりとともに地域間の交流と親睦を図る。  |      |               |
| 成果目標     | 運動会を行うことで地域住民の絆を深めるとともに地域間の交流と親睦を図り、地域づくりを推進する。   |      |               |
| 実施場所     | 県民豊科運動広場  | 事業期間 | 令和7年10月19日（日） |
| 事業の概要    | 大玉送り、〇×ゲーム、パン食い競争など全8種目を行った。<br>従来の運動会のように地区公民館ごとに得点や順位を付けることは行わず、運動することを楽しむ機会とした。また、開催時間も午前中のみとして、地区公民館役員の負担を軽減を図った。 |      |               |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                         |
|------|-------|-------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 会場準備と競技運営               |
|      | 相手側   | 参加者の募集・取りまとめ            |
|      | 市側    | 参加賞、景品、用具等の手配。プログラムの作成。 |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | おおむね達成できた                                  |
| 協働による効果   | 市民と行政が目的を共有し、それぞれ役割を分担し取り組み、目標を達成することができた。 |
| 課題・改善点    | 競技運営方法の改善、参加者の拡大、参加者の要望に応える競技の見直し          |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 穂高納涼祭  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力（協定）<br>3. <b>実行委員会</b> 4. その他（        ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 穂高納涼祭実行委員<br>穂高商業高校  |  |   |
|       | 市側  | 教育部生涯学習課穂高生涯学習係<br>市民生活部地域づくり課穂高地域担当                             |  |   |

納涼祭風景

### 【事業の概要】

|          |   |      |             |
|----------|---|------|-------------|
| 取組の背景・課題 | 以前は昼間によさこいやわさび祭りといったお祭りを開催し夜に納涼祭を行っていた。コロナ禍以降R5より納涼祭のみ復活し、会場は穂高会館としステージ発表のみ行い、R6はステージ発表に加え盆踊りを復活しましたがコロナ禍の影響は大きく、踊り連の参加は少なかった。本年度は、6年ぶりに会場を穂高神社北神苑に移し開催されました。 |      |             |
| 事業の目的    | 第42回穂高納涼祭は、穂高地域の方々によるステージ発表や納涼盆踊りを楽しみ、ご来場の皆様が夏の夕涼みの時間を過ごしていただくことを目的とした。   |      |             |
| 成果目標     | 市民およそ3,000人のご来場をいただく。            【本年度来場者数4,500人】  |      |             |
| 実施場所     | 穂高神社北神苑   | 事業期間 | 令和7年8月2日（土） |
| 事業の概要    | 地域の皆様が集い、ステージ発表を通して夏の夕べを楽しむ企画<br>8月2日（土）夕方より穂高神社北神苑に特設ステージと中央に櫓を設置しステージ発表を織り交ぜながら踊り連を一般公募して、「穂高音頭」「HOTAKAサンバ」納涼盆踊りを行った。                                       |      |             |

### 【協働の役割分担】


|          |       |                |
|----------|-------|----------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 会場準備・片付け、催事運営、 |
|          | 相手側   | 出演、会場整理        |
|          | 市側    | 企画、契約事務、広報活動   |

### 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 未就学児童から高齢者まで、世代を超えた出演者によるパフォーマンス発表の場となり、市民の融和と交流ができた。昨年より踊り連の参加が増えた。 |
| 協働による効果   | 地元高校生が納涼祭のポスター作製や会場準備から出演まで参加し、実行委員や出演者との関わり合いを通して、地域協働の実体験を得ていただけた。 |
| 課題・改善点    | 夏場が実施時期であるので熱中症対策や会場周辺の安全を図る。  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |   |   |
|-------|-----|---|---|
| 事業の名称 |     | 穂高地域地区公民館対抗球技大会   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催      2. <b>事業協力</b> (協定)<br>3. 実行委員会   4. その他 (      )      |   |
| 実施団体  | 相手側 | 穂高家庭婦人バレーボール協会<br>穂高壮年ソフトボール連盟<br>穂高ソフトバレーボールクラブ<br>穂高東中学校・穂高西中学校 |   |
|       | 市側  | 教育部生涯学習課穂高生涯学習係   |   |

ソフトバレーボール大会の様子

### 【事業の概要】

|          |  |      |                  |
|----------|--|------|------------------|
| 取組の背景・課題 | 球技大会の開催には、地区公民館役員の協力が不可欠であるが、人集めが困難との声により多くなってきた。  |      |                  |
| 事業の目的    | 市民体力の向上及び公民館の親睦を図る。  |      |                  |
| 成果目標     | 穂高地域内全地区公民館より参加いただく。   |      |                  |
| 実施場所     | 穂高地域内体育施設  | 事業期間 | 令和7年6月15日、11月16日 |
| 事業の概要    | 令和7年6月15日(日)<br>ソフトボール大会【雨天のため中止】<br>9人制バレーボール大会【穂高総合体育館アリーナ】<br>令和7年11月16日(日)<br>ソフトバレーボール大会【穂高総合体育館アリーナ】、【穂高東中体育館】 |      |                  |

### 【協働の役割分担】


|      |       |                |
|------|-------|----------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 会場準備・片付け、大会運営、 |
|      | 相手側   | 大会進行・審判        |
|      | 市側    | 企画、広報活動        |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | バレーボール8チーム参加<br>ソフトバレー36チーム参加   |
| 協働による効果   | スポーツ団体、地区公民館から審判等ご協力いただき、会場設営・当日の進行を行うことができた。<br>秋のソフトバレーボール大会においては、穂高東中学校・穂高西中学校の生徒を対象に、生徒の住む地域の方々が集い、楽しむ行事に次世代を担う中学生が参画し、運営を支える機会を創出したいと考え運営ボランティアを募集したところ13名の参加があった。 |
| 課題・改善点    | 地区公民館対抗の形式は残しつつ、参加しやすい競技種目を企画する。  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | 穂高文化祭  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（                      ） |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | 穂高文化協会<br>穂高商業高校   |  |  |
|       | 市側  | 教育部生涯学習課穂高生涯学習係  |  |  |

穂高地域で活動する団体のステージ発表

### 【事業の概要】

|          |   |      |                            |
|----------|---|------|----------------------------|
| 取組の背景・課題 | 地域の文化・芸術作品の展示を行い、市民が集うことで地域の文化・芸術活動の理解、市民の親睦を図る。  |      |                            |
| 事業の目的    | 市民の文化、産業の振興及び親睦を図る。   |      |                            |
| 成果目標     | 市民およそ 1,000 人のご来場をいただく。                      【本年度来場者数 1,964 人】  |      |                            |
| 実施場所     | 穂高会館及び穂高神社  | 事業期間 | 令和 7 年 10 月 11 日～11 月 16 日 |
| 事業の概要    | 文化・芸術作品展示、芸能まつり、菊花作品等の展示を行う。<br>総合美術展 10 月 24 日（金）から 10 月 26 日（日） 穂高総合体育館アリーナ<br>芸能まつり 10 月 24 日（金）から 10 月 26 日（日） 穂高公民館講堂<br>あづみ野菊花展・穂高人形展<br>10 月 26 日（日）から 11 月 16 日（日） 穂高神社境内 |      |                            |

### 【協働の役割分担】


|      |       |              |
|------|-------|--------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企画、会場準備      |
|      | 相手側   | 出演、催事運営、会場整理 |
|      | 市側    | 事務局、広報活動     |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 未就学児童から高齢者まで、世代を超えた出演者によるパフォーマンス発表の場となり、市民の融和と交流ができた。         |
| 協働による効果   | 地元高校生が受付や会場準備、片付けに参加し、穂高文化協会や出演者との関わり合いを通して、地域協働の実体験を得ていただけた。 |
| 課題・改善点    | 参加していただいている団体の高齢化による後継者問題。<br>より多くの参加者を募る。                    |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |   |   |
|-------|-----|---|---|
| 事業の名称 |     | 三郷祭<br>(三郷地域市民文化産業展及び菊花展)                                       |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力(協定)<br>3. <b>実行委員会</b> 4. その他(       ) |   |
| 実施団体  | 相手側 | 三郷地域市民文化産業展実行委員会  |   |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課 三郷生涯学習係   |   |

三郷地域市民菊花展

## 【事業の概要】

|          |  |      |  |
|----------|--|------|--|
| 取組の背景・課題 | 地域の文化・芸術作品の展示を行い、市民が集うことで地域の文化・芸術活動の理解、市民の親睦を図る。   |      |  |
| 事業の目的    | 市民の文化、産業の振興及び親睦を図る。  |      |  |
| 成果目標     | 作品の出展を三郷地域内へ広く募る。1,000人以上の来場を目指す。  |      |  |
| 実施場所     | 三郷公民館  | 事業期間 | 令和7年6月～令和7年12月<br>(開催は、文化産業展：10月25日～10月27日、<br>菊花展：11月1日～11月14日) |
| 事業の概要    | 文化・芸術作品展示(こども園児及び小中学生の力作展含む)や菊花作品展示を行う。<br><b>展示内容</b> 三郷地域住民の芸術文化作品及び小・中学校児童・生徒の力作展、認定こども園の園児及び友好都市の生徒の力作展、みさと伝統こどもいけばな教室展示 |      |  |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 出展作品の搬入及び搬出の補助、会場内の監視 |
|      | 相手側   | 開催内容についての協議           |
|      | 市側    | 広報、事務局                |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 出展者：約500の団体及び個人(約600点)、来場者：約1,800人                            |
| 協働による効果   | 行政のみで実施するよりも自分たちの活動との意識のもと、責任を持った運営を行うことで、準備等をスムーズに進めることができた。 |
| 課題・改善点    | 市民グループ等の高齢化に伴い、若い世代の出展数が減少しているため、三郷公民館ホームページなどで出展募集を広く周知したい。  |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 三郷祭<br>(三郷地域市民運動会)   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力(協定)<br>3. <b>実行委員会</b> 4. その他(        ) |   |
| 実施団体  | 相手側 | 三郷地域市民運動会実行委員会   |   |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課<br>三郷生涯学習係   |   |

三郷地域市民運動会

## 【事業の概要】

|          |  |      |                               |
|----------|--|------|-------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 運動会への参加については、地区公民館役員の負担をできるだけ軽減する必要がある。また、運動会開催の意義を共有する必要がある。  |      |                               |
| 事業の目的    | 市民体力の向上及び市民相互の融和を図る。   |      |                               |
| 成果目標     | 種目への参加を三郷地域内へ広く募る。1,000人以上の来場を目指す。   |      |                               |
| 実施場所     | 三郷文化公園グラウンド  | 事業期間 | 令和7年6月～令和7年12月<br>(開催は10月19日) |
| 事業の概要    | <p>これまで開催してきた運動会の種目を全面的に見直し、参加しやすい運動を開催することで、市民の親睦を図る。</p> <p>《実施した種目》計9種目<br/>三郷〇×クイズ、みんなそろって大玉送り、心を合わせて二人三脚、跳んで1分大縄跳び、一致団結リレー、避難準備は大丈夫?、おやつですよ。パンゲット!、親子でダンスとお土産ひろい、小学生ダンス</p> |      |                               |

## 【協働の役割分担】


|          |       |             |
|----------|-------|-------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 会場設営、参加者募集  |
|          | 相手側   | 種目への参加、運営協力 |
|          | 市側    | 広報、事務局、運営   |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 来場者 1,200人(種目参加者含む)   |
| 協働による効果   | 行政のみで実施するよりも自分たちの活動との意識のもと、責任を持った運営を行うことで、当日の進行等をスムーズに進めることができた。  |
| 課題・改善点    | 市スポーツ協会関係団体にも、より一層協力の機運を高めていただきたい。スポーツ推進委員の指導の下、新たな種目や運営方法を検討したい。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |   |  |   |
|-------|-----|---|--|---|
| 事業の名称 |     | 三郷祭<br>(三郷地域市民ふれあいコンサート)  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力(協定)<br>3. <b>実行委員会</b> 4. その他(       ) |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 三郷地域市民ふれあいコンサート実行委員会  |  |   |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課<br>三郷生涯学習係  |  |   |

三郷地域市民ふれあいコンサート

## 【事業の概要】

|          |   |      |                               |
|----------|---|------|-------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 音楽団体が日頃の練習の成果を発表することで、市民が集い地域の芸能・文化活動の理解、市民の親睦を図っている。 |      |                               |
| 事業の目的    | 市民が音楽にふれあうことで市民相互の融和及び精神的豊かさの向上を図る。                   |      |                               |
| 成果目標     | 出演者を三郷地域内へ広く募る。300人以上の来場を目指す。                         |      |                               |
| 実施場所     | 三郷中学校 講堂  | 事業期間 | 令和7年6月～令和7年12月<br>(開催は10月11日) |
| 事業の概要    | 三郷公民館を利用している音楽団体を中心にステージを設定した。<br>出演者 94名(7団体、2個人)    |      |                               |

## 【協働の役割分担】


|          |       |         |
|----------|-------|---------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 受付、会場設営 |
|          | 相手側   | 出演、司会進行 |
|          | 市側    | 広報、事務局  |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 来場者 246人(出演者含む)   |
| 協働による効果   | 行政のみで実施するよりも自分たちの活動との意識のもと、責任を持った運営を行うことで、準備等をスムーズに進めることができた。 |
| 課題・改善点    | 出演者が減少傾向にあるため、より多くの団体・個人に出演していただくよう、周知の方法を工夫する必要がある。          |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |   |  |   |
|-------|-----|---|--|---|
| 事業の名称 |     | 三郷祭<br>(三郷地域市民芸能発表会)  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催            2. 事業協力(協定)<br>3. 実行委員会   4. その他(        ) |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 三郷地域市民芸能発表会実行委員会  |  |   |
|       | 市側  | 教育部 生涯学習課<br>三郷生涯学習係  |  |   |

三郷地域市民芸能発表会

### 【事業の概要】

|          |   |      |                              |
|----------|---|------|------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 芸能団体が日頃の練習の成果を発表することで、市民が集い地域の芸能・文化活動の理解、市民の親睦を図る。  |      |                              |
| 事業の目的    | 市民の芸能、文化の振興を図る。   |      |                              |
| 成果目標     | 出演団体を三郷地域内へ広く募る。300人以上の来場を目指す。  |      |                              |
| 実施場所     | 三郷公民館   | 事業期間 | 令和7年6月～令和7年12月<br>(開催は11月8日) |
| 事業の概要    | 三郷公民館を利用している芸能団体を中心にステージを設定していく。<br>出演団体 7団体(三郷芸術文化協会4団体、一般3団体)<br>内訳 舞踊(3)・太極拳(1)・フラダンス(3) |      |                              |

### 【協働の役割分担】


|          |       |               |
|----------|-------|---------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 会場設営、リハーサル    |
|          | 相手側   | 受付、音響、照明、記録写真 |
|          | 市側    | 広報、事務局        |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 来場者 540人(出演者含む)   |
| 協働による効果   | 行政のみで実施するよりも自分たちの活動との意識のもと、責任を持った運営を行うことで、準備等をスムーズに進めることができた。 |
| 課題・改善点    | 参加団体が減少しているため、より多くの団体に出演していただくよう、周知の方法を工夫する必要がある。             |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |
|-------|-----|--|--|
| 事業の名称 |     | 第9回常念フェスティバル   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |
| 実施団体  | 相手側 | 常念フェスティバル実行委員会   |  |
|       | 市側  | 教育部生涯学習課堀金生涯学習係<br>市民生活部地域づくり課堀金地域担当   |  |

水をテーマにした遊び場の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |           |
|----------|---|------|-----------|
| 取組の背景・課題 | 「堀金だけ夏祭りが無い、さみしい…」との声を受け、有志による実行委員会が主催（事務局：堀金地域課・堀金公民館）で平成29年から開催。令和5年度からは各種団体からも実行委員会に参加いただいている。堀金の夏祭りとして認知・継続していくか、また実行委員の高齢化が課題となっている。 |      |           |
| 事業の目的    | 地域コミュニティの活性化、地域振興   |      |           |
| 成果目標     | 「常念フェスティバル」を開催し、市民が集い、楽しんでいただく。   |      |           |
| 実施場所     | 堀金多目的屋内運動場<br>・堀金中央公園   | 事業期間 | 令和7年8月30日 |
| 事業の概要    | 26団体から実行委員として参加協力いただき、会議及び当日の運営に携わっていただいた。<br>○常念フェスティバルの内容<br>パフォーマンス（ステージ発表）、出店、体験コーナー（ウォータープレイランド等）、子ども食堂、福もち福菓子投げ など                  |      |           |

## 【協働の役割分担】


|      |       |               |
|------|-------|---------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | フェスティバルの企画・運営 |
|      | 相手側   | 協賛金集め         |
|      | 市側    | 広報、会場提供、事務局   |

## 【実施結果】

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 多くの来場があり盛大に開催することができた。        |
| 協働による効果   | 各種団体の出店、支援を得ることができた。          |
| 課題・改善点    | 実行委員の高齢化、協賛金集めが難しくなってきたことが課題。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |
|-------|-----|--|--|
| 事業の名称 |     | 堀金地域市民運動会  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会              4. その他（              ） |  |
| 実施団体  | 相手側 | 堀金地域市民運動会実行委員会   |  |
|       | 市側  | 教育部生涯学習課堀金生涯学習係  |  |

大盛り上がりの年代別リレー

## 【事業の概要】

|          |   |      |            |
|----------|---|------|------------|
| 取組の背景・課題 | 運動会の開催には、地区公民館役員の協力が不可欠であるが、人集めが困難との声がより多くなってきた。                      |      |            |
| 事業の目的    | 地域の住民、家庭、学校が連携・協働し、世代を超えた交流の場の創出、また健康と体力づくり増進を図る。                     |      |            |
| 成果目標     | 運動会を開催することで、地域に生活する住民が集う場をもち、市民の交流を促進する。                              |      |            |
| 実施場所     | 堀金小学校校庭   | 事業期間 | 令和7年10月19日 |
| 事業の概要    | 地区公民館対抗の形式は残しつつ、各種団体も参加しやすい競技を増やして実施する（ウルトラクイズ、パン食い競争、玉入れ、地区対抗リレーほか）。 |      |            |

## 【協働の役割分担】


|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 企画、運営  |
|      | 相手側   | 種目への参加 |
|      | 市側    | 広報、事務局 |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 昨年度は雨天中止により、2年ぶりに開催し、住民が集い、交流する場を提供することができた。            |
| 協働による効果   | スポーツ団体、地区公民館から実行委員に参加していただき、会場設営・当日の進行を行うことができた。        |
| 課題・改善点    | 地区公民館対抗の形式は残しつつ、各種団体も参加しやすく観客も楽しめる競技種目を設定・企画するよう心掛けている。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|          |     |  |  |  |
|----------|-----|--|--|--|
| 事業の名称    |     | 堀金文化祭（作品展、芸能発表会）   |  |  |
| 協働の形態    |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |  |  |
| 実施<br>団体 | 相手側 | 堀金文化祭作品展実行委員会<br>堀金文化祭芸能発表会（芸能祭）実行委員会  |  |  |
|          | 市側  | 教育部生涯学習課堀金生涯学習係  |  |  |

堀金地域で活動する団体のステージ発表

## 【事業の概要】

|          |   |      |                                     |
|----------|---|------|-------------------------------------|
| 取組の背景・課題 | 地域の文化・芸術作品の展示・発表を行い、市民が集うことで地域の文化・芸術活動の理解、市民の親睦を図る。   |      |                                     |
| 事業の目的    | 市民の文化、産業の振興及び親睦を図る。   |      |                                     |
| 成果目標     | 出展及び出演を堀金地域内へ広く募ると共に、1,000人以上の来場を目指す。   |      |                                     |
| 実施場所     | 堀金総合体育館   | 事業期間 | 令和7年10月31日～11月2日<br>（芸能発表会は11月1日のみ） |
| 事業の概要    | 文化・芸術作品の展示及び、芸能発表会を行う。<br>作品展内容：短歌・俳句、フラワーアレンジメント、書道、こども園児童作品、小・中・高等学校生徒作品、児童館作品、地区公民館作品、福祉施設作品 外<br>芸能発表会内容：楽器演奏（和太鼓、ハーモニカ、オカリナ等）、ダンス、合唱 外 |      |                                     |

## 【協働の役割分担】


|          |       |            |
|----------|-------|------------|
| 役割<br>分担 | 一緒の取組 | 企画・運営、会場設営 |
|          | 相手側   | 出展・出演、会場整理 |
|          | 市側    | 事務局、広報活動   |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 未就学児童から高齢者まで、世代を超えた人々による発表の場となり、市民の融和と交流に繋がった。<br>作品展：36ブース、芸能発表会：18団体、来場者数：925人 |
| 協働による効果   | 参加者が主体的に関わることで当事者意識と交流が深まり、地域の人材や力を活かした持続的な活動に繋がることが期待できる。                       |
| 課題・改善点    | 参加していただいている団体の固定化による新規参加者の減少が目立つ。多様な団体の新規参加と担い手の循環を生む仕組みづくりが課題。                  |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|                   |   |                       |  |  |
|-------------------|---|-----------------------|--|--|
| 事業<br>の<br>名<br>称 | いいまちサロン   |                       |  |  |
| 協働<br>の<br>形<br>態 | 1. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共催</span> 2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（      ） |                       |  |  |
| 実<br>施<br>団<br>体  | 相<br>手<br>側   | 明科いいまちつくりかい！          |  |  |
|                   | 市<br>側  | 教育部   生涯学習課   明科生涯学習係 |  |  |

写真

（説明）R5.9/2 うまいもん市で団体の主張後の集合写真

### 【事業の概要】

|          |  |      |                        |
|----------|--|------|------------------------|
| 取組の背景・課題 | 明科地域は、高齢化や独居老人の増加に伴い、地域とのつながりが希薄になってきています。   |      |                        |
| 事業の目的    | 「交流、親睦、学び」を目的とします。   |      |                        |
| 成果目標     | 高齢化社会に向けての健康づくり、絆づくり、生きがいくりに取り組み、保健福祉や生涯学習の向上に努めます。  |      |                        |
| 実施場所     | 明科地域   | 事業期間 | 令和7年4月1日～<br>令和8年3月31日 |
| 事業の概要    | 毎月テーマを決め、お茶を飲みながら気軽に参加できるサロンを最終火曜日を基本に開催しました。歌声サロンではピアノに合わせて懐かしい歌を歌い、健康づくり講座では発酵文化を学び、麴などの発酵食品を使った健康食を作りました。8/30に「うまいもん市」を開催し、多くの方で賑わいました。 |      |                        |

### 【協働の役割分担】


|              |       |                          |
|--------------|-------|--------------------------|
| 役割<br>分<br>担 | 一緒の取組 | いいまちサロンの開催               |
|              | 相手側   | 企画立案、準備、当日の運営等           |
|              | 市側    | 会場手配〈明科公民館〉、参加申込の受付、広報掲載 |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 達成できました                                     |
| 協働による効果   | 役割分担により効果的にサロンを開催することができました。                |
| 課題・改善点    | 会員の高齢化により事業や組織の存続が危ぶまれるため、次世代会員の獲得が課題であります。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |   |
|-------|-----|--|--|---|
| 事業の名称 |     | 第 34 回信州安曇野薪能  |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（              ） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 信州安曇野薪能実行委員会   |  |   |
|       | 市側  | 教育部      文化課      文化振興担当   |  |   |

「新作能 犀龍小太郎」の場面

## 【事業の概要】

|          |  |      |                            |
|----------|--|------|----------------------------|
| 取組の背景・課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市名誉市民で観世流能楽師の青木祥二郎氏の顕彰をする。</li> <li>・30年以上継続してきた上質な舞台芸術鑑賞を継承し、市民に提供する。</li> <li>・文化資源を活用した観光振興に協力する。</li> </ul> |      |                            |
| 事業の目的    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・格調高い能楽公演の実施を通して、安曇野市名誉市民で観世流能楽師の青木祥二郎(明科出身・重要無形文化財保持者(総合認定))の業績を顕彰。また、安曇野市の芸術文化の向上、観光振興に寄与する。</li> </ul>           |      |                            |
| 成果目標     | 来場者数 800人  |      |                            |
| 実施場所     | 明科龍門淵公園  | 事業期間 | 令和7年8月23日(土)<br>午後4時30分～9時 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・能楽の公演(能 菊慈童、舞囃子 龍田、新作能 犀龍小太郎)</li> <li>・あづみのこども能楽教室で能楽を学んでいる子どもたちの発表</li> <li>・公演のための舞台設営、会場準備、資金調達</li> </ul>     |      |                            |

## 【協働の役割分担】


|      |       |  |
|------|-------|--|
| 役割分担 | 一緒の取組 | ・薪能の実施、事業のPR                                   |
|      | 相手側   | ・事業についての企画立案・審議・予算執行、会計処理、チケット販売、広告協賛金依頼、当日の運営 |
|      | 市側    | ・補助金の交付、施設の貸し出し                                |

## 【実施結果】

|           |  |
|-----------|--|
| 成果目標の達成状況 | 585人の来場  |
| 協働による効果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が実行委員となり運営や企画立案にかかわることで、長年の経験や知識に基づいた、会場設営、広告協賛の募集やチケット販売を行うことが出来た。</li> <li>・明科で能楽を学ぶ子どもたちの発表の場を提供できた。</li> </ul> |
| 課題・改善点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い年齢層、県内外からの来場者を増やすために、効果的なPRを行うこと。</li> <li>・天候や会場の環境に即した安全かつ円滑な運営を行うこと。</li> <li>・運営に係る資金調達。</li> </ul>           |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |   |  |   |
|-------|-----|---|--|---|
| 事業の名称 |     | 安曇野文化刊行事業   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会    4. その他（刊行委員会<br>市は事務局を担当） |  |   |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野文化刊行委員会  |  |   |
|       | 市側  | 教育部 文化課 文化振興担当  |  |   |

（説明）安曇野文化 56, 57号

## 【事業の概要】

|          |  |      |                    |
|----------|--|------|--------------------|
| 取組の背景・課題 | 三郷地域で刊行されていた「三郷文化」が平成23年夏号をもって創刊30年を迎えるにあたり、区切りをつけ、以降「安曇野文化」として刊行することとし、平成23年5月に安曇野文化刊行委員会が発足。以降、今日まで季刊誌として発刊している。   |      |                    |
| 事業の目的    | 安曇野の恵まれた文化を広く見つけ、ふるさとの自然と歴史、文芸、教育、産業、生活等の万般の文化に更に光を当て、広く市民に享受していただくと共に、地域文化を創造し大切にすることによって、地域の活性化と一層の安曇野市の文化の発展を企図する。  |      |                    |
| 成果目標     | 購読者数…令和8年1月現在で365名である。購読者数を可能な限り増やしたい。   |      |                    |
| 実施場所     | 貞享義民記念館（編集室）   | 事業期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日 |
| 事業の概要    | <p>「安曇野文化」発刊：第55号(春号)令和7年5月31日 第56号(夏号)令和7年8月31日 第57号(秋号)令和7年11月30日 第58号(冬号)令和8年2月28日</p> <p>刊行委員会は年度末に開催し、年4回の発行に併せて編集委員会を開催する。</p> <p>編集委員会は執筆者の選定から各号を購読者に届けるまでの実務を行う。購読料と安曇野市からの補助金により事業を行う。</p> |      |                    |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                        |
|------|-------|------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | ・刊行委員会、編集委員会の開催        |
|      | 相手側   | ・各号の原稿依頼と収集、編集作業、発行、配布 |
|      | 市側    | ・事務局を担当                |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 継続購読者の高齢化等により購読停止する方が増加しており、全体としての継続購読者数は減少傾向である。                 |
| 協働による効果   | 委員や執筆者の周囲への声掛けにより、購読や取材・広報をとおして、市内外の方々に安曇野について広く知っていただくことに繋がっている。 |
| 課題・改善点    | 印刷費、送料の高騰に対する予算措置、購読者数減少が課題である。執筆内容について、多くの方の興味を引くジャンルの開拓を検討している。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |   |
|-------|-----|--|---|
| 事業の名称 |     | 第 21 回あづみの公園早春賦音楽祭   |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会            4. その他（            ） |   |
| 実施団体  | 相手側 | あづみの公園早春賦音楽祭実行委員会  |   |
|       | 市側  | 教育部 文化課 文化振興担当   |   |

（説明）市内中学校による吹奏楽の発表

## 【事業の概要】

|          |   |      |                 |
|----------|---|------|-----------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野の自然・風景を活かした国営アルプスあづみの公園において、音楽による社会教育の促進や観光振興を図りたい。  |      |                 |
| 事業の目的    | 市民参加による音楽祭を開催し、安曇野に生まれた「早春賦」をはじめ、地域に歌い継がれている歌を通して、地域文化と安曇野の良さを知っていただき、地域の振興に寄与する。                                       |      |                 |
| 成果目標     | 入場者数目標 7,000 人  |      |                 |
| 実施場所     | 国営あづみのアルプス公園（堀金・穂高地区）   | 事業期間 | 令和 7 年 5 月 11 日 |
| 事業の概要    | 会場設営：ステージ設営・運営・撤去、物品準備、来園者の誘導・案内<br>イベント運営：当日の人員配置、役割分担の調整<br>学校との調整：出演する学校との調整、バス・楽器手配<br>広報：広報物による、出演者・ボランティアの募集、開催告知 |      |                 |

## 【協働の役割分担】

|      |       |                          |
|------|-------|--------------------------|
| 役割分担 | 一緒に取組 | 会場設営、当日の運営               |
|      | 相手側   | 実行委員会の会議開催、当日までの各団体の連絡調整 |
|      | 市側    | 補助金交付による資金援助、運営補助        |

## 【実施結果】

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| 成果目標の達成状況 | 入場者数は 8,141 人。目標達成。                   |
| 協働による効果   | 協働で取り組むことにより学校関係、市民が参加できる方法を最大限検討できた。 |
| 課題・改善点    | 学校関係の出演については、今後の部活動地域移行を踏まえた柔軟な対応が必要。 |

# 事業概要紹介シート

## 【事業の名称等】

|       |     |  |  |
|-------|-----|--|--|
| 事業の名称 |     | 安曇野さんぽ市 2025   |  |
| 協働の形態 |     | 1. <b>共催</b> 2. 事業協力（協定）<br>3. 実行委員会      4. その他（                      ） |  |
| 実施団体  | 相手側 | 安曇野さんぽ市実行委員会   |  |
|       | 市側  | 教育部 文化課 文化振興担当   |  |

（説明）出展の様子

## 【事業の概要】

|          |   |      |                 |
|----------|---|------|-----------------|
| 取組の背景・課題 | 創造の大地・安曇野で活躍する個性豊かな手しごと品のづくり手と、そこから生み出される物のつかい手。互いが広場で交流を深め合い、新たな出会いの場の創出。                    |      |                 |
| 事業の目的    | 地域に根付いた活動をするものづくり作家と、使い手側とが交流できる場の提供。また、会場である穂高交流学習センターを多くの市民に利用してもらい、交流の場としての役割を果たすことを目的とする。 |      |                 |
| 成果目標     | 人の出会いや交流の場の創出、それらの場として施設が定着こと   |      |                 |
| 実施場所     | 安曇野市穂高交流学習センター「みらい」   | 事業期間 | 令和7年5月17日～5月18日 |
| 事業の概要    | 安曇野市を中心に活動するものづくり作家や職人たちが出展者となり、手作り品の展示・販売・ワークショップを行う。  |      |                 |

## 【協働の役割分担】


|      |       |                                    |
|------|-------|------------------------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 運営、来場者受付、イベント告知                    |
|      | 相手側   | 事務局（参加者募集、問い合わせ対応、支出管理）、ブース配置決め など |
|      | 市側    | 施設の貸出し、敷地内の管理 など                   |

## 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | ものづくり作家や職人たちと市民が交流する場や機会をつくり出すことができた。   |
| 協働による効果   | 市民と行政が連携することで、交流の場を創出することができた。  |
| 課題・改善点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>出展者に搬出入の時間や運営ルールを徹底し、混乱がないようにする。</li> <li>参加者募集受付にGoogleフォームを使い、複数人で管理することで事務管理の精度を高めることが必要である。</li> </ul> |

## 事業概要紹介シート

### 【事業の名称等】

|       |     |  |  |  |
|-------|-----|--|--|--|
| 事業の名称 |     | ふるさと探究事業と担い手育成事業   |  |  |
| 協働の形態 |     | 1. 共催                      2. 事業協力(協定)<br>3. 実行委員会          4. その他<br>(                      ) |  |  |
| 実施団体  | 相手側 | NPO 法人ふるさとづくり応援団   |  |  |
|       | 市側  | 教育部文化課文化財保護係   |  |  |

(説明) 参加者へ説明するスタッフ

### 【事業の概要】

|          |  |      |               |
|----------|--|------|---------------|
| 取組の背景・課題 | 安曇野の暮らしに根付き地域に大切に受け継がれてきた文化や遺産といった「地域の宝物」の継承・維持が超少子高齢化やライフスタイルの変化などを原因として危うい状況にある。   |      |               |
| 事業の目的    | 安曇野の暮らしに根付き地域に大切に受け継がれてきた文化や遺産といった「地域の宝物」を実際に現地を歩きながら探究する。またこれらを継承していくことができる人材を増やすために、信州大学の学生に本事業にスタッフとしてかかわっていただき、安曇野を一人でも多くの人に知ってもらおう。 |      |               |
| 成果目標     | 信州大学生の参加者のべ数3人日  |      |               |
| 実施場所     | 市内各所   | 事業期間 | 令和7年5月～令和8年3月 |
| 事業の概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小学校等での地域学習での探究学習の実施</li> <li>屋敷林の落ち葉拾いボランティア</li> </ul>   |      |               |

### 【協働の役割分担】

|      |       |                   |
|------|-------|-------------------|
| 役割分担 | 一緒の取組 | 信州大学との打ち合わせ、事業の周知 |
|      | 相手側   | 事業の計画、当日の運営       |
|      | 市側    | スタッフ謝礼、信州大学との連絡調整 |

### 【実施結果】

|           |   |
|-----------|---|
| 成果目標の達成状況 | 信州大学生の参加人数13人日                                    |
| 協働による効果   | 文化財を行政や所有者だけでなく、地域全体で保存・活用していくという意識醸成へつながることができる。 |
| 課題・改善点    | 信州大学生の安曇野での拠点があるとよい。または学生が安曇野まで来る、または交通手段の確保      |

発行日：令和8年3月

編集・発行：安曇野市役所 市民生活部 地域づくり課  
まちづくり推進担当（本庁舎2階4番窓口）

住所：〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地

電話：0263-71-2494（直通） FAX：0263-72-3176